



オークの巣窟 禁忌の協定

首切り (kubikiri)

R18G
成人向け

この作品はフィクションです。作中には暴力的表現が含まれています。暴力行為を推奨するものではありません。



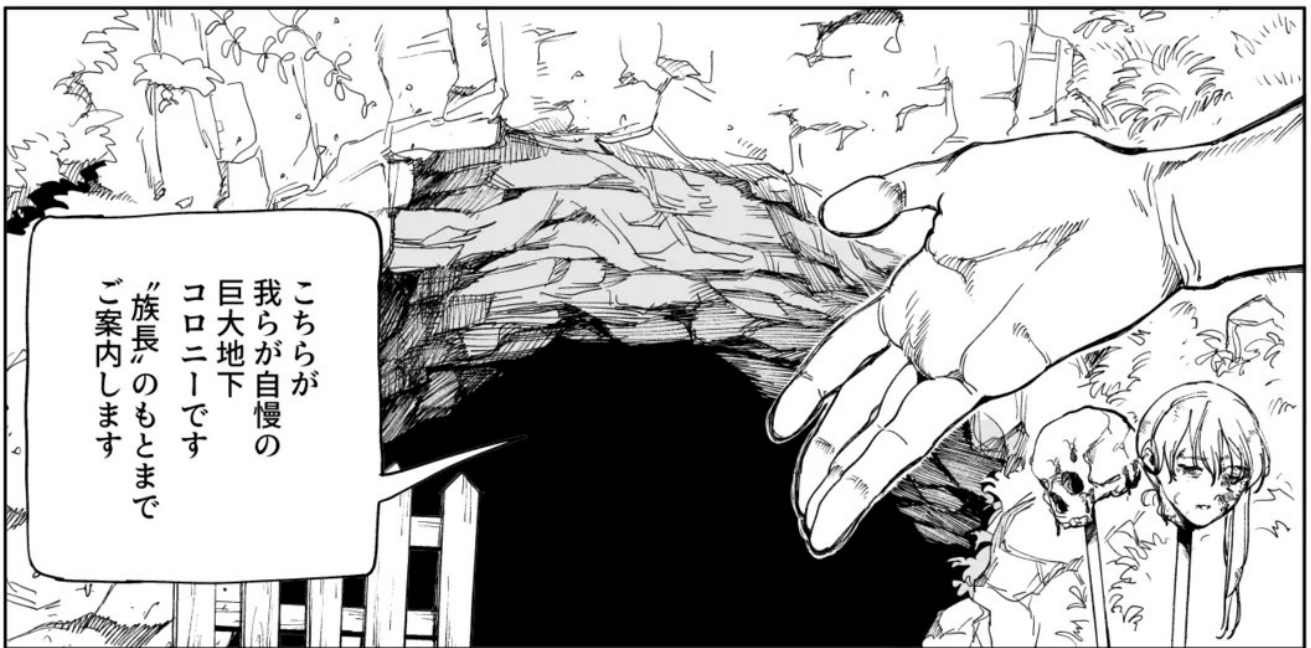
ようこそ
いらっしやい
ました

今回
ご案内させて
いただきます
ダフォと申します



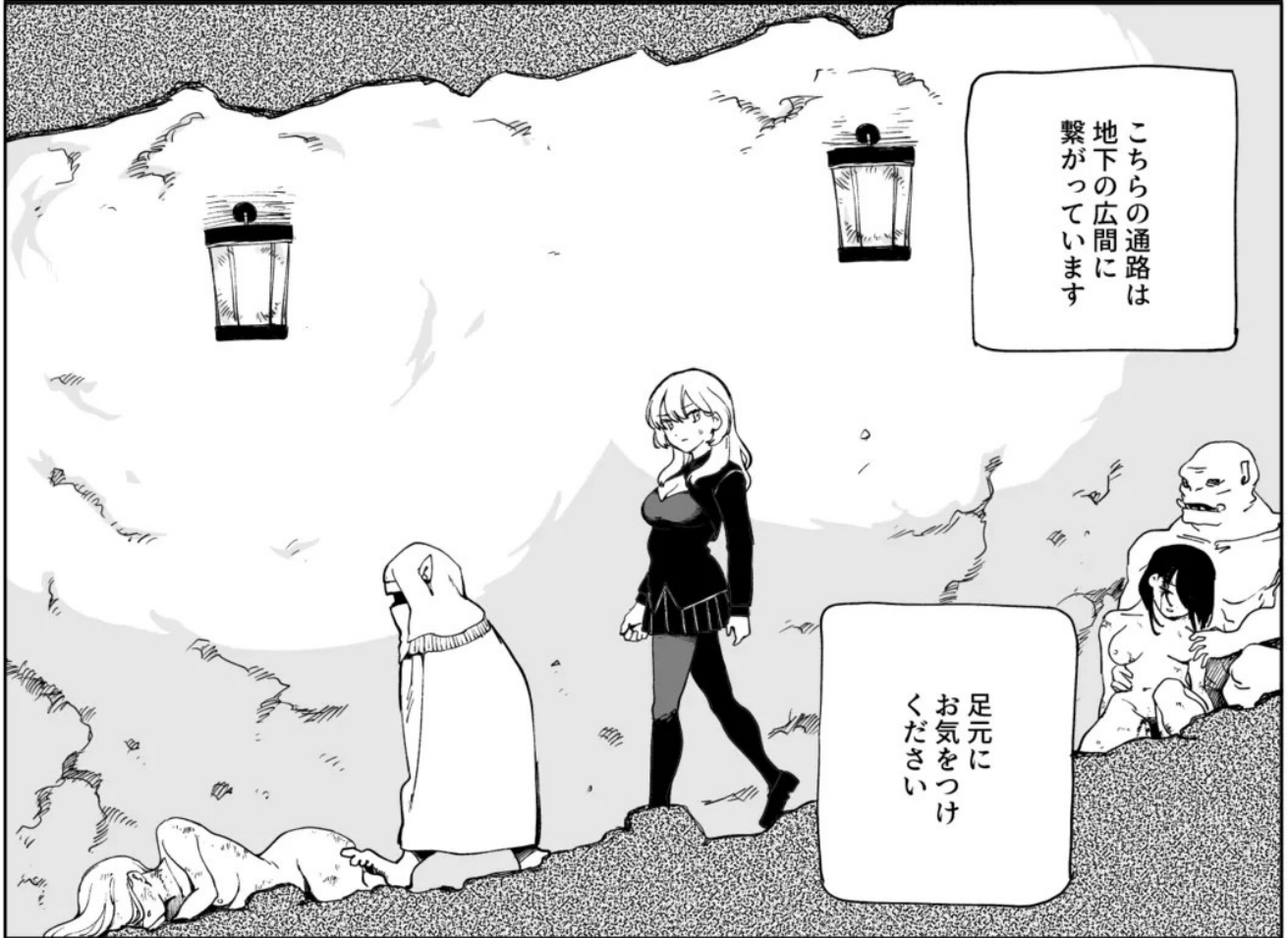
エルエルト国
外交官
イザヨイです

訪問の機会を
設けていただき
ありがとうございます
本日は
よろしくお願
い
します



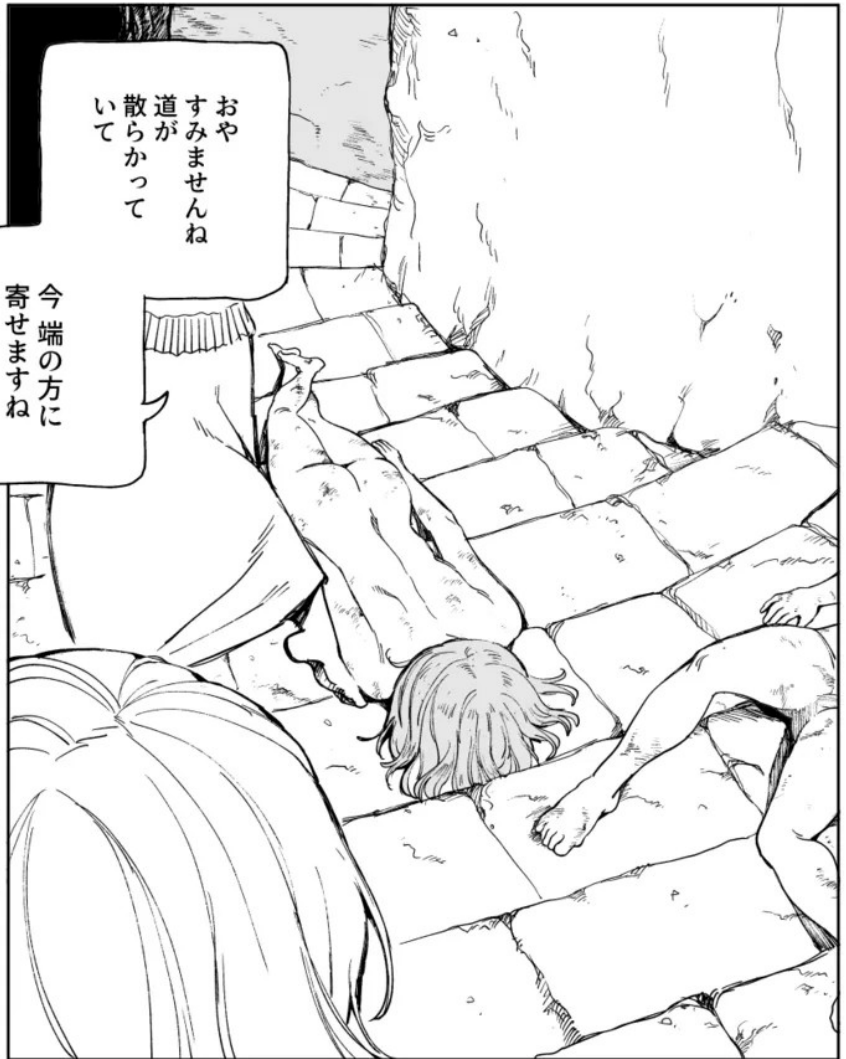
こちらが
我らが自慢の
巨大地下
コロニーです
族長のもとまで
ご案内します

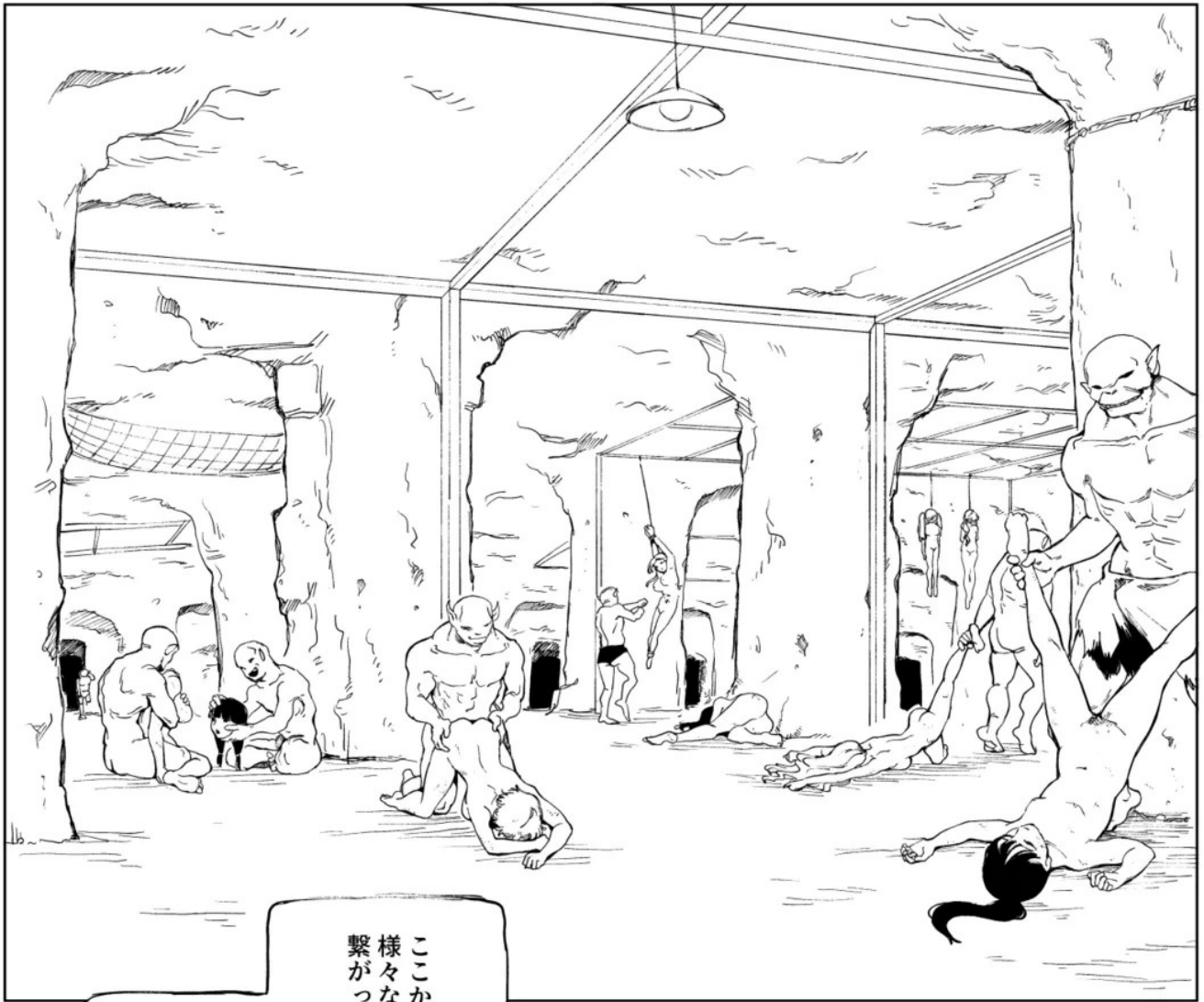
オークの巣窟 禁忌の協定



こちらの通路は
地下の広間に
繋がっています

足元に
お気をつけ
ください

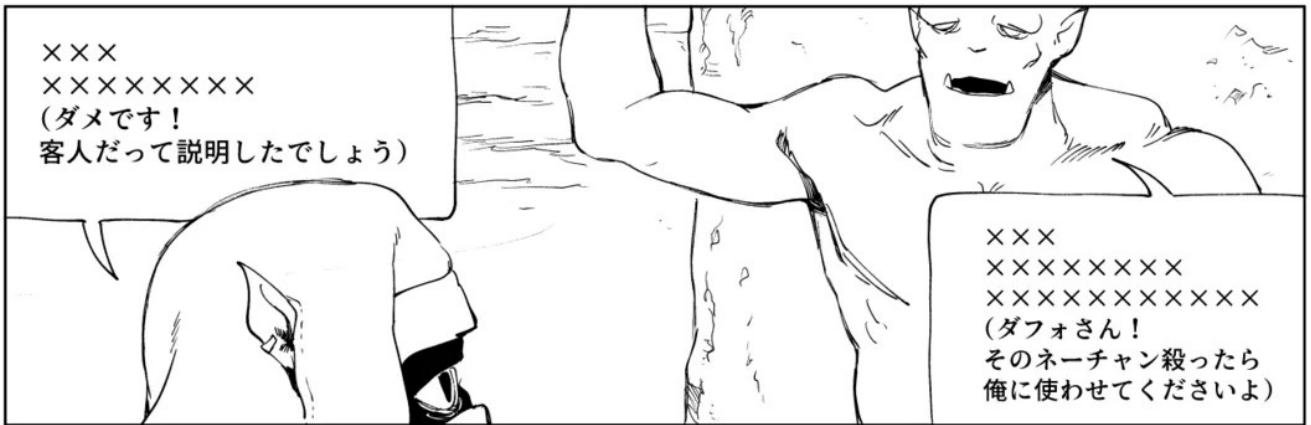
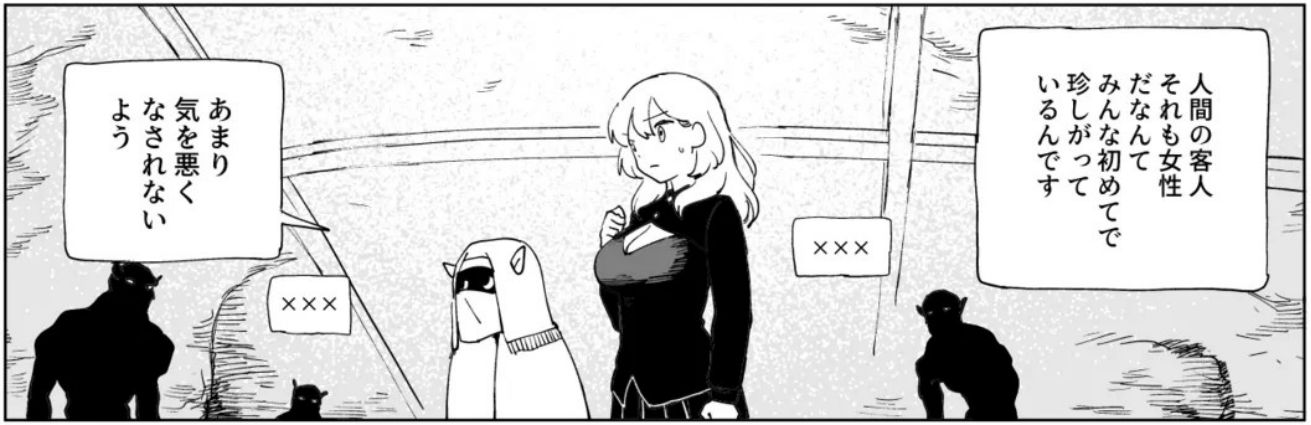


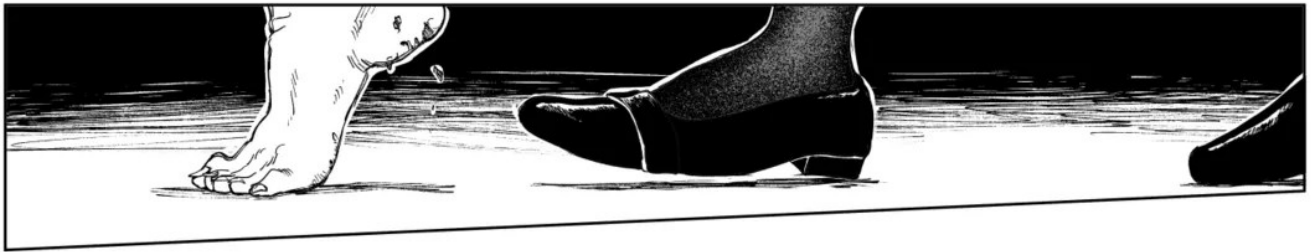


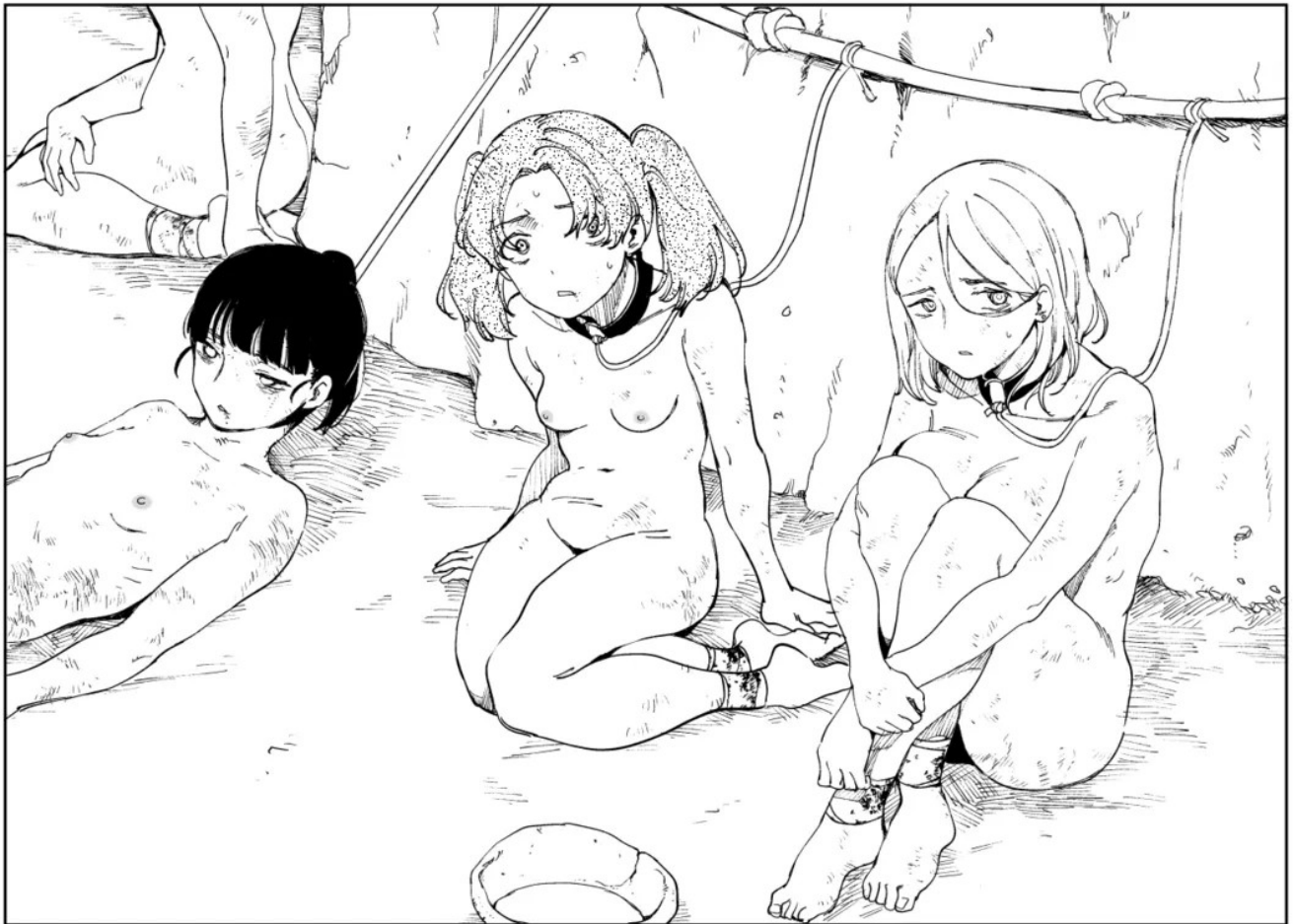
ここから
様々な通路に
繋がっています

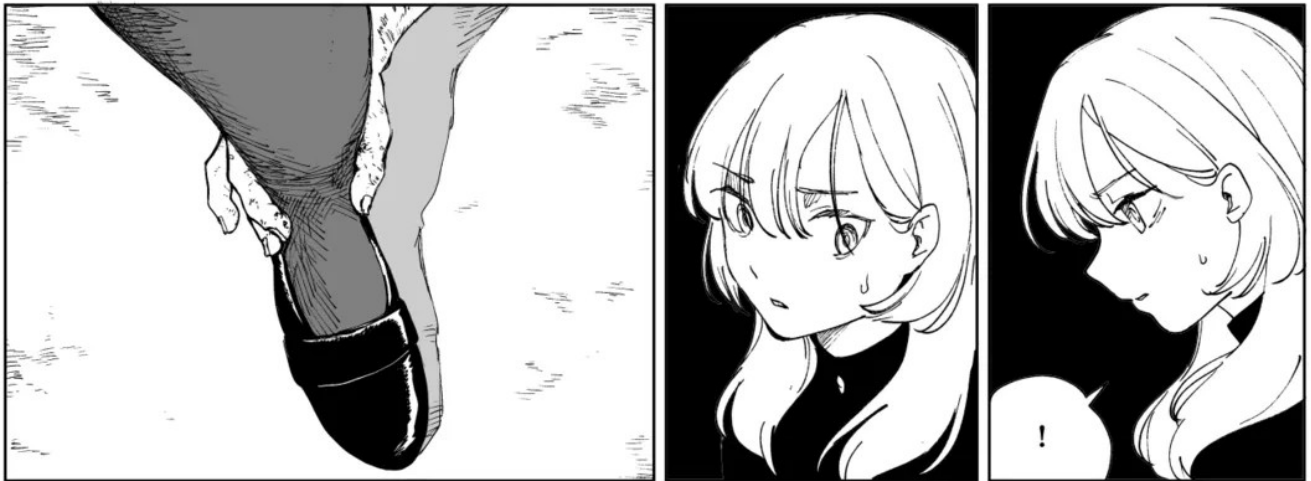
皆が
自由にすごす
交流スペース
でもあります

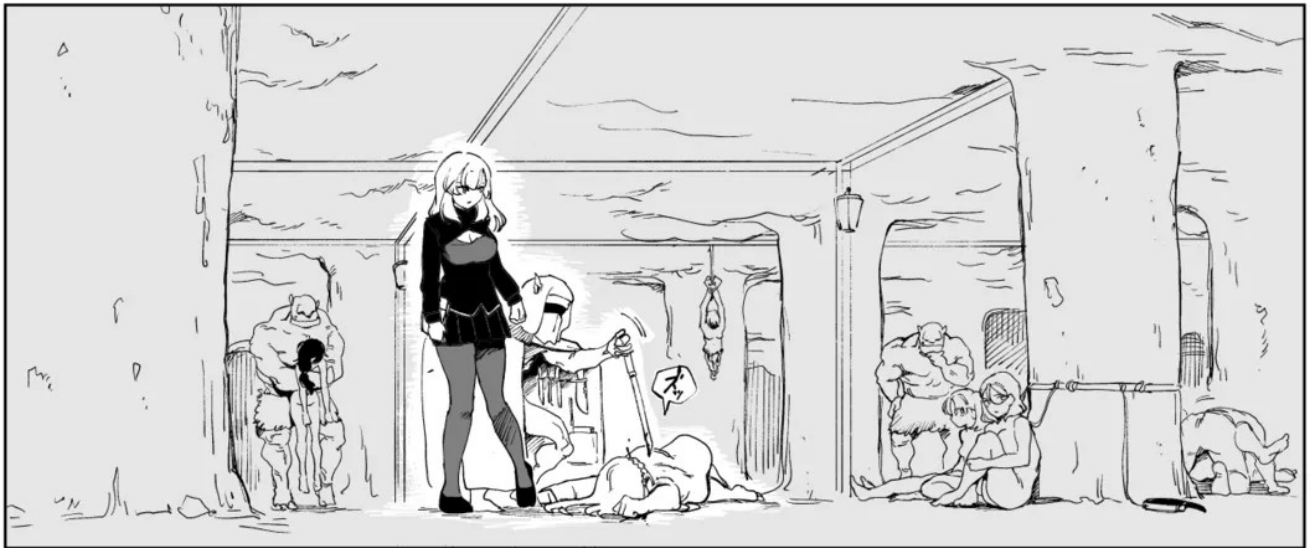








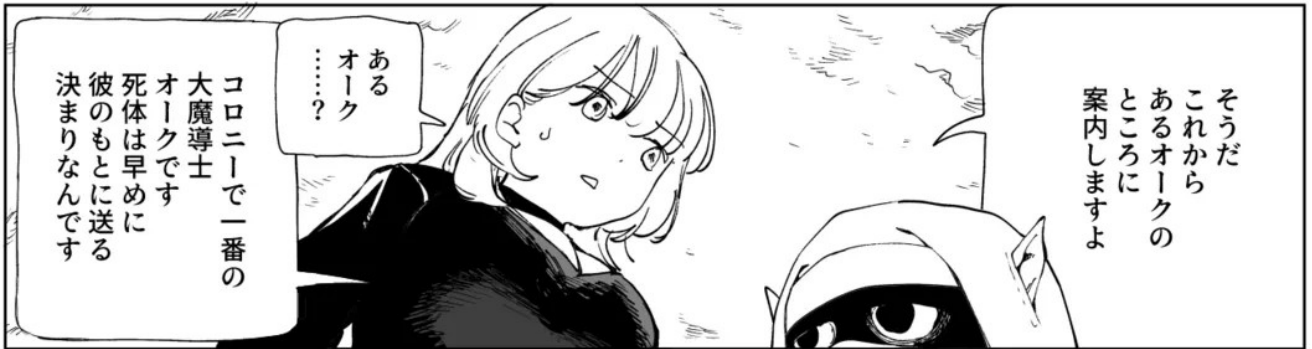






しかし……
女が死んだら
ちゃんと「処理」
するようには
私が普段
言いつけて
いること
なんですよね

どうし
ましようか



そうだ
これから
あるオークの
ところに
案内しますよ

ある
オーク
……？

コロニーで一番の
大魔導士
オークです
死体は早めに
彼のもとに送る
決まりなんです

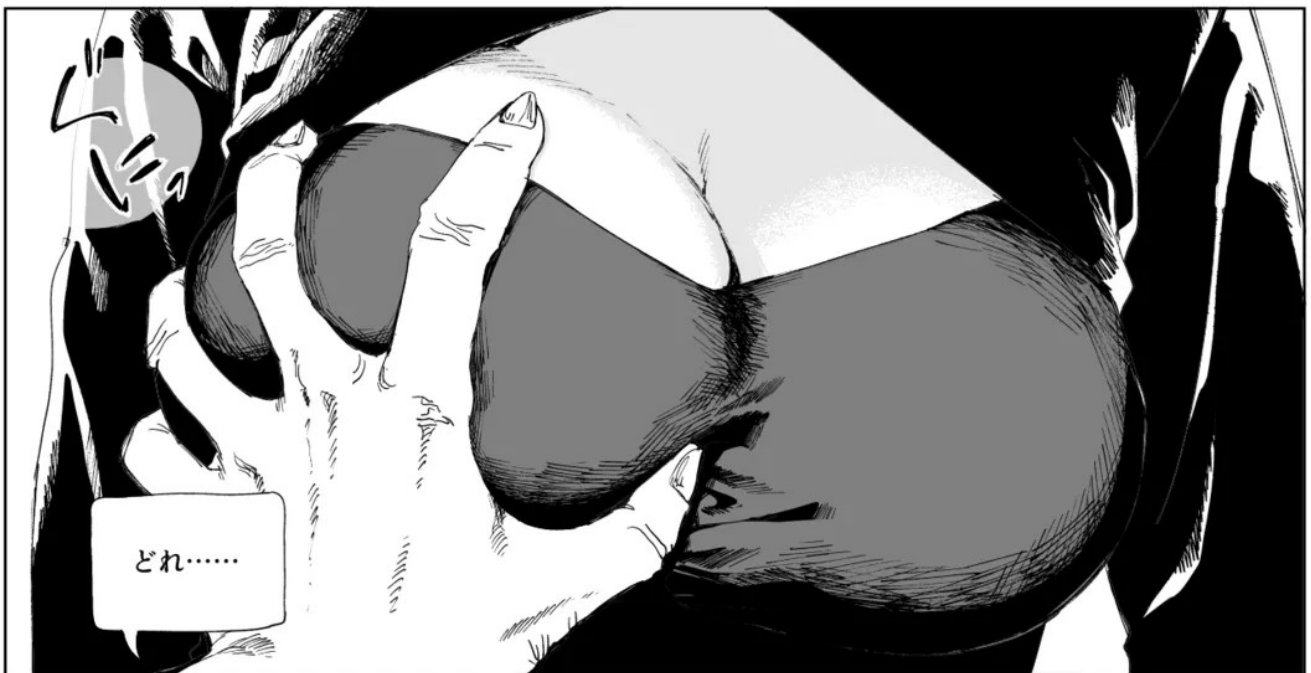


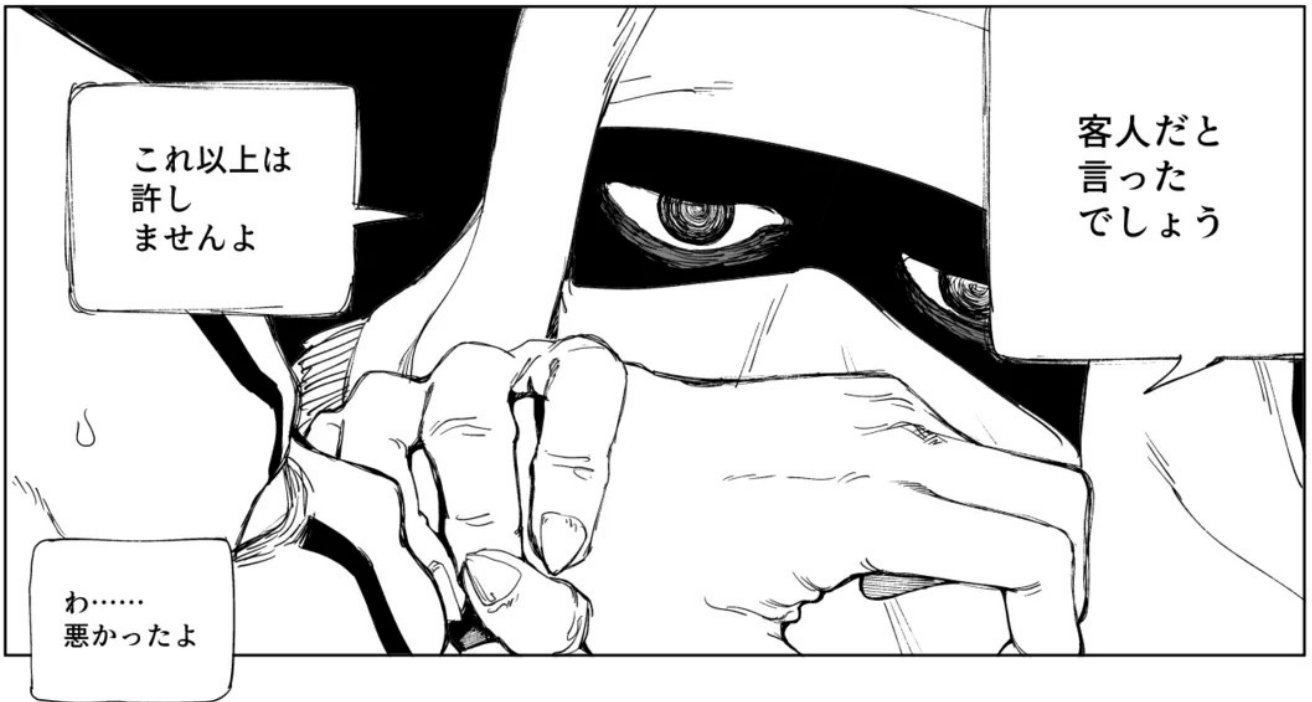
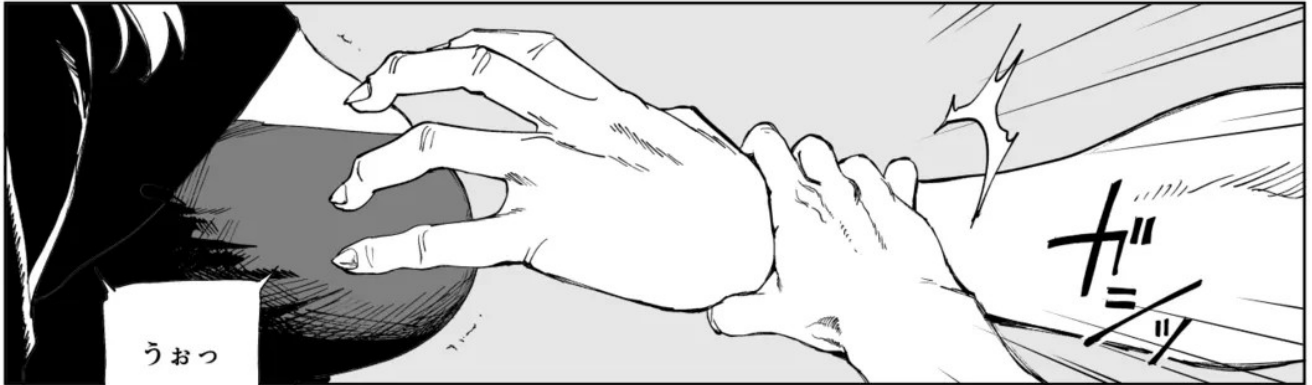
族長様が
お待ちして
いるの
では……

大丈夫です
族長からは
イザヨイ様を
いろいろ案内
して来いと

そういう
ことなら
……

ズッ……





これ以上は
許し
ませんよ

客人だと
言った
でしょう

わ……
悪かったよ



私は全然
なんてこと
ありません

それで……
ンドロボドロ様の
魔法について
お聞かせ
願えますか



いっ……
いえいえ……

イザヨイ様……
申し訳
ございません
本当に……



あれは
延命魔法の
実験だそうです

あそこの女性は
上半身だけになって
もう3日も死なずに
苦しみ続けている
そうです

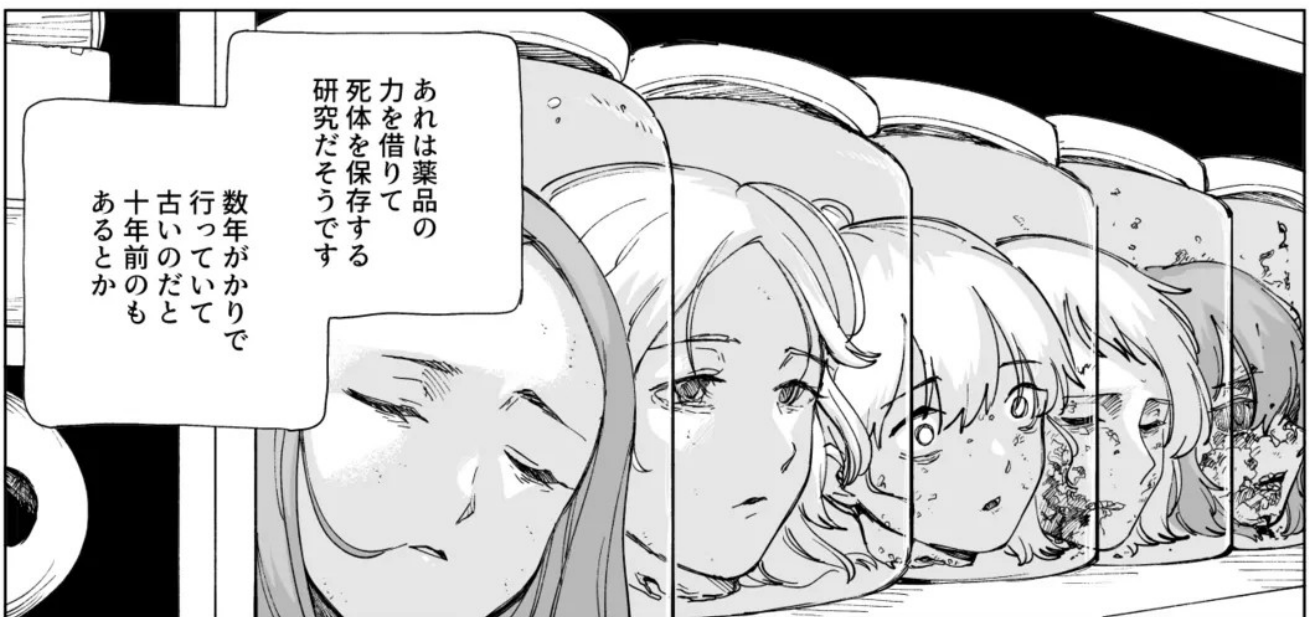


じゃあ
ンドロボドロさん
ここでの研究の
説明を

私が
訳します



ここでは
延命技術と
抗腐技術の
研究を中心に
行っている
と
言っています



あれは薬品の
力を借りて
死体を保存する
研究だそうです

数年がかりで
行っていて
古いのだと
十年前のも
あるとか



彼が今見せてくれているのが死体の腐敗を遅らせる魔法ですね

薬品漬けほど長持ちではありませんが不敗の進行を遅らせられます二十倍といつたところですか



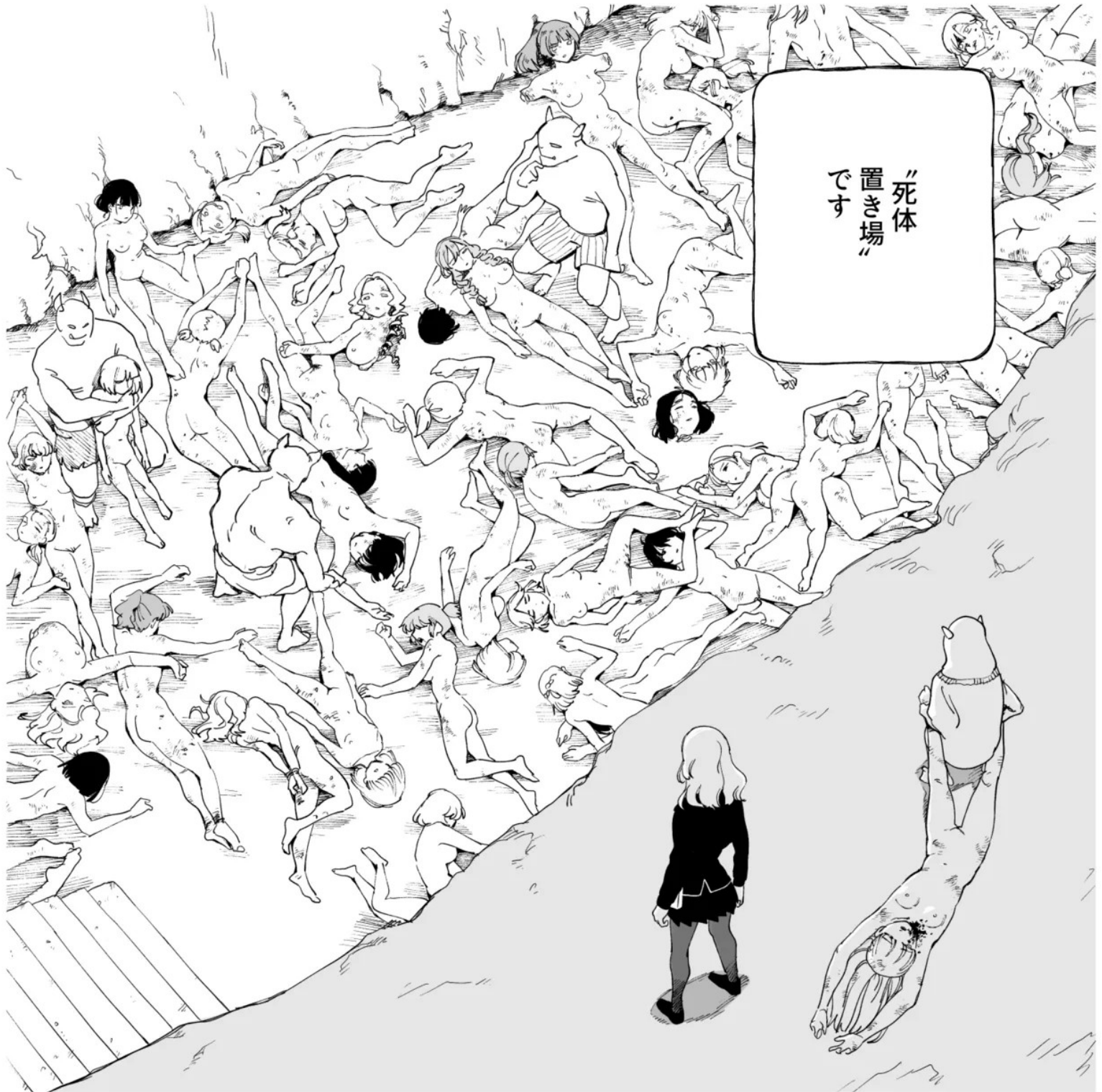
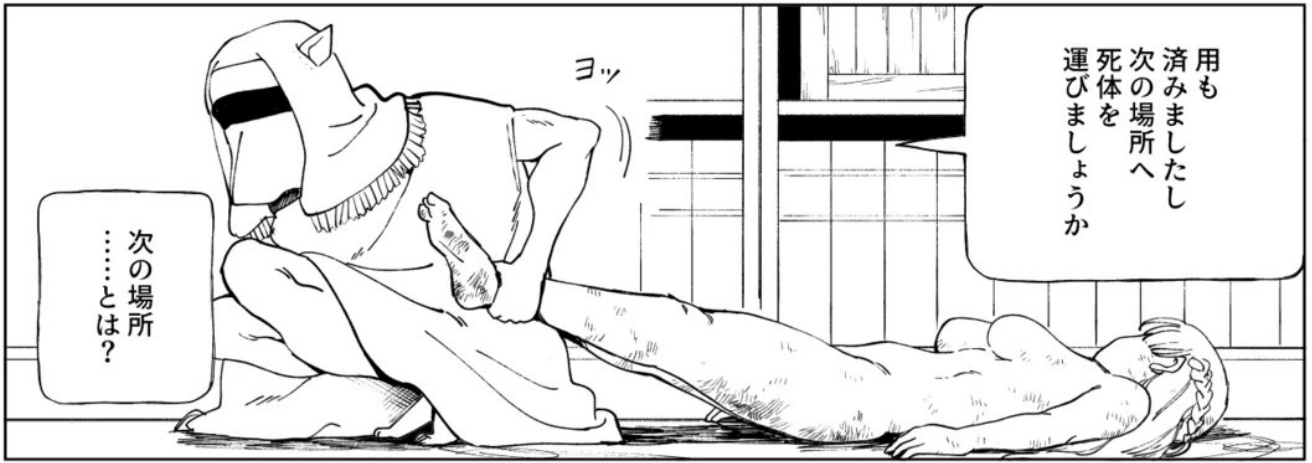
すごい……どれもエルエルト国にはない技術ですね
そうか……やけに新しい死体が多かったのはこういう理由があったんですね

この魔法……『腐敗停止』
『腐敗停止』
でしようか？
以前本で読みました



これは『腐敗遅延』という魔法だそうです
『腐敗停止』は最高位魔法と呼ばれる伝説の魔法で自分には使えないと

でもいつか必ず自分が到達してみせると言っています
がんばってほしいですね







腐った肉も
独特の
香りがある
美味しかったり
するんですよ

……
それっ



ここまで死体が
集まると……
なかなかの悪臭が
ありますね

悪臭？



ああ！
そうでしたね
人間は腐敗臭を
好まないん
でしたね

オークは
腐った死肉も
喰いますし
そういうの
ないんですよ



アザーツッ！
ダフォさん

古くなったり
人気のない
ものから
食糧に
選ばれます



死体は
ここに
集めます

この死体は
皆さんが
好きに選んで
使えます



あっち側には
見た感じ古くて
状態の悪く
なったものが
多いですし……

そうですね
簡単にですが
皆さん分別して
いるようです



この死体……
種類や状態で
分けて
いますよね



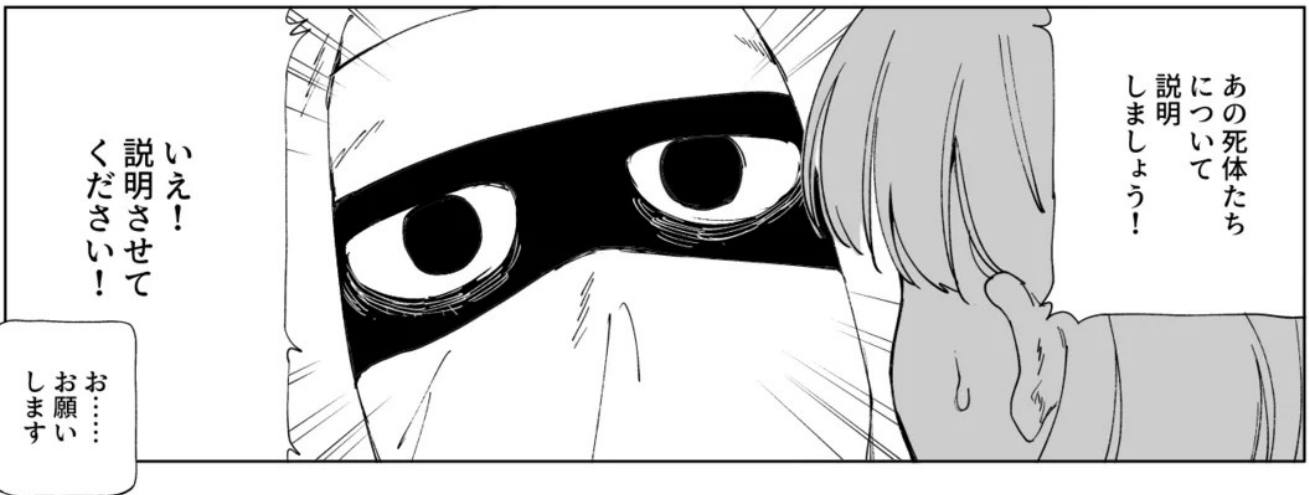
あちらは
……なんで
しょう

どの死体も
首がなくて
それに
損傷も多い
ような……



さすが
イザヨイ様！
素晴らしい
着眼力！

えっ



あの死体たち
について
説明
しましょう！

いえ！
説明させて
ください！

お……
お願い
します



こちらを
ご覧
ください！



これは...

メベール
小隊の
者たちです

先日戦闘が
ありまして...
我らの勇敢なる
オーク軍の
華々しい戦果を称え
飾っているんです
すごいでしょう！



メベール小隊...!!
ヌマ国軍
尖鋭部隊の...!!
それに...
そもそもオーク軍と
戦闘が行われて
いたのですか!?

おや...
知りません
でしたか?

いえ
それも当然ですね
近頃のことですし
ヌマ国にとっても
隠匿したい情報
でしょうから

はあ...
つまり先ほどの
首無し死体は
彼女らだった
と...

あれは
小隊長「ロツダ」の
死体です

特別に
保持液につけて
保存しています
……今は使用中
みたいですが

会合の場で
一度同席した
だけなので
向こうは私を
覚えて
いなかったかも
しれません

なるほど……
外交官
ですもんねえ

ご友人などで
ないなら
安心しました

小隊のことは
後ほど詳しく
お話すること
なるでしょう
今回の件に
大きく関与する
ことですからね

ロツダ……

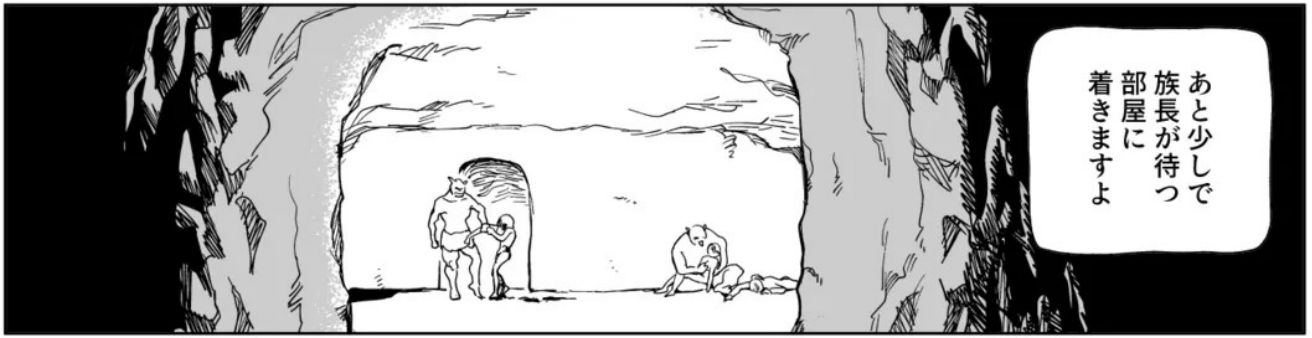
えーっ!!
生前の
ロツダと
お知り合いで
……!!

どうか
されまし
たか?

いえ……
彼女には
以前
お会いした
ことがあり

ドキッ





あと少しで
族長が待つ
部屋に
着きますよ



あれは
……?
?

あれは
食肉加工
部屋に繋がる
穴ですね



死体が落とされる
こともあれば
さっきみたいに
生きた女が
落とされる
こともあります

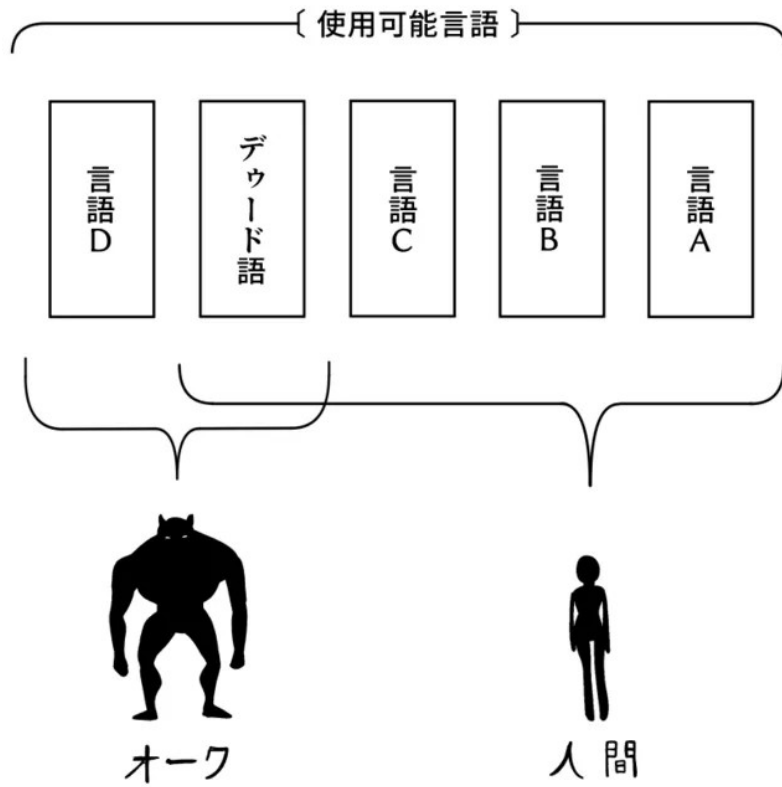
たまに
うっかり落ちる
ドジオークもいて
危ないんですよ
アハハ……

なるほど……

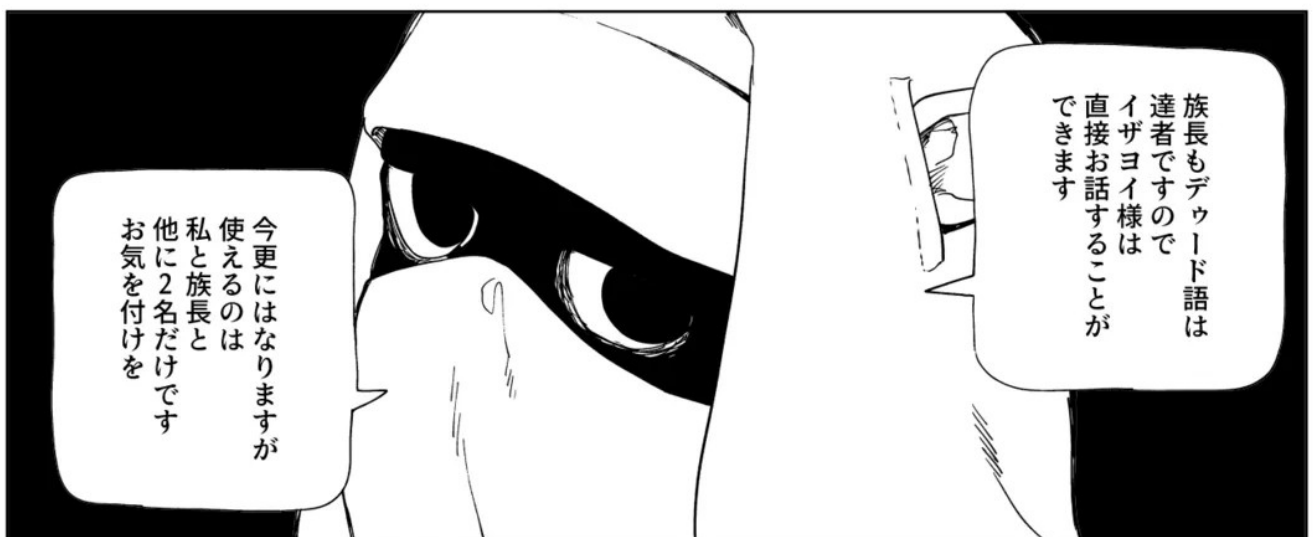


「デウード語とは」

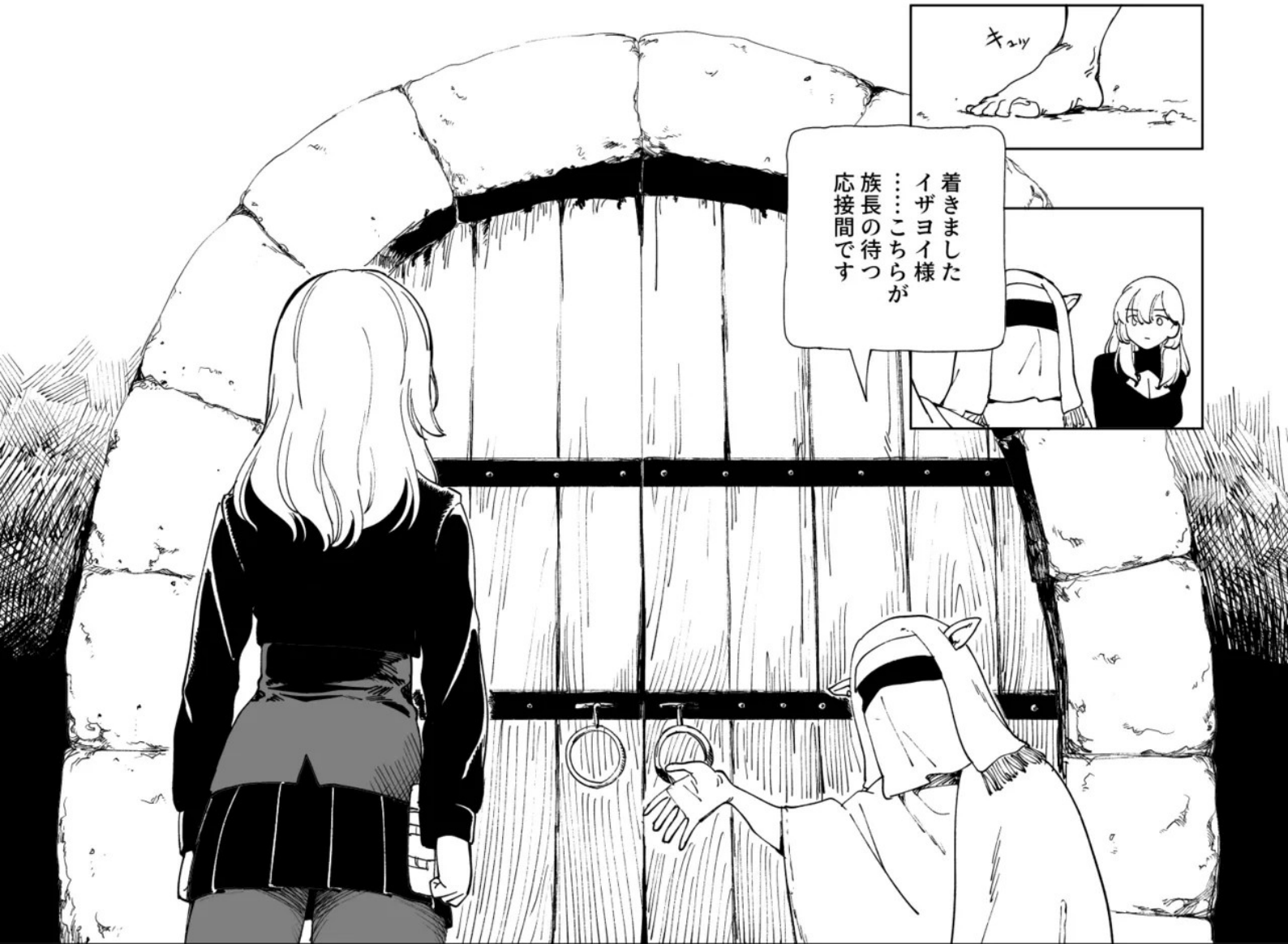
人間とオーク種は発声・聴音機構が異なり互いの言語を理解することは困難である



デウード語は両種の発声・聴音可能範囲のみで構成されており、両種が習得することが可能な唯一の言語なのである



族長もデウード語は達者ですのでイザヨイ様は直接お話することができます



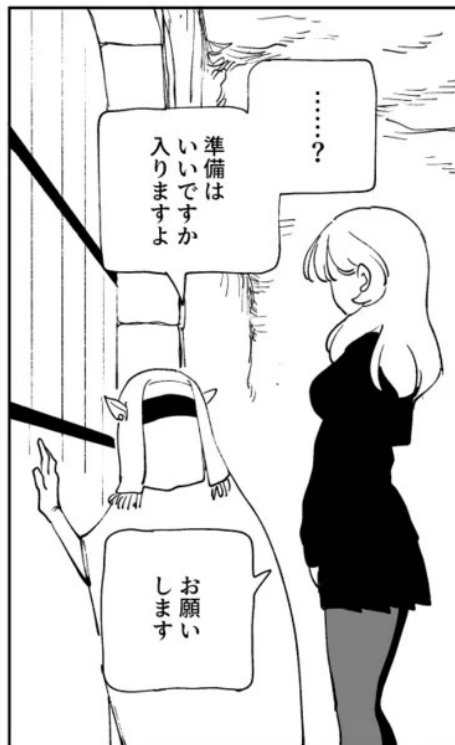
着きました
イザヨイ様
……こちらが
族長の待つ
応接間です

キ



ツツツ

族長
イザヨイ様を
連れてきました
入りますよ



……?
準備は
いいですか
入りますよ

お願い
します



……引き返す
なら
ここが最後……
なんででしょうね

ほろろ





飲みながらでも
話そう
じゃあないか



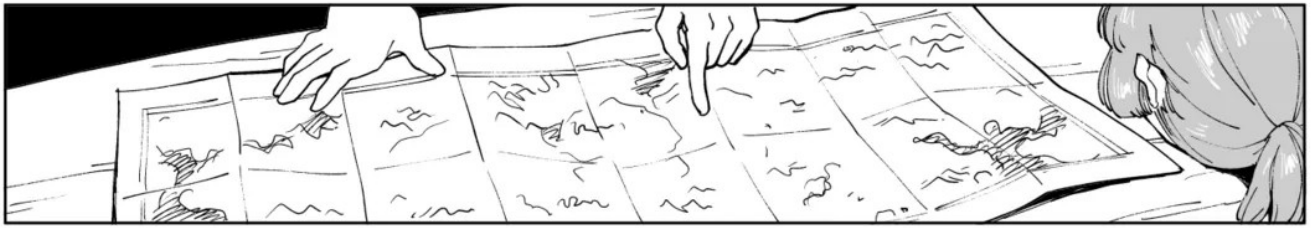
よくできた
觸體杯だろう？
遠慮せず
使いたまえ



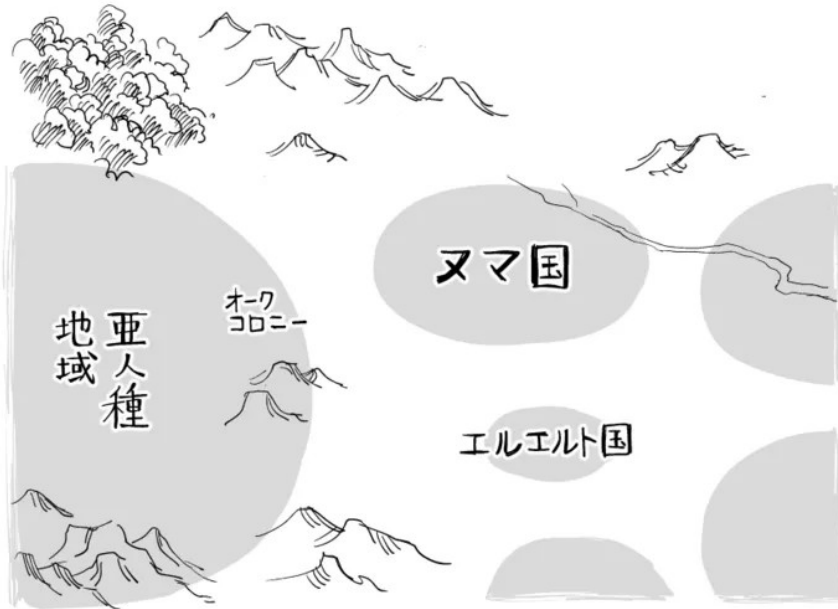
さて……
話を聞こうか

では……我が国
エルエルト国と
ヌマ国との
こと……

そして
エルエルト国が
あなたがたに
持ちかける
協定案について……



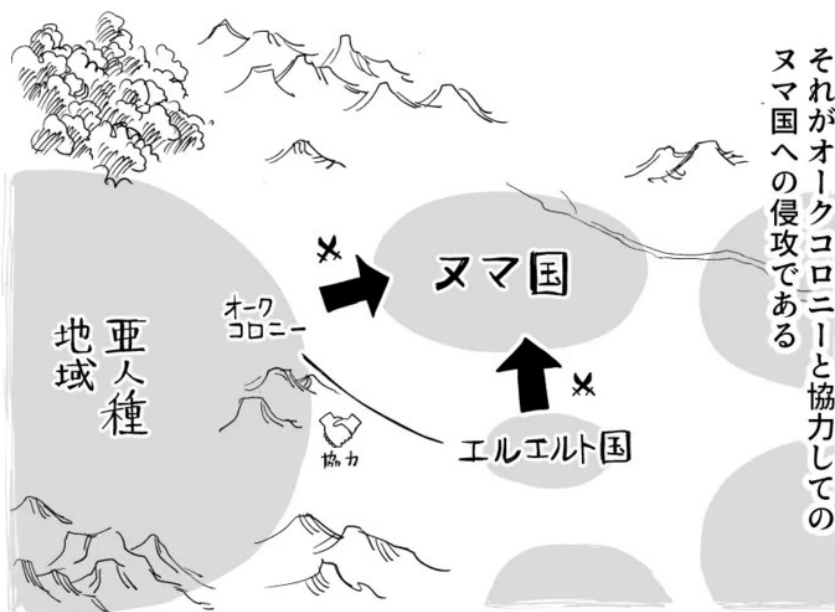
“エルエルト国”と
“ヌマ国”
そしてヌマ国西部に位置する
オークのコロニー



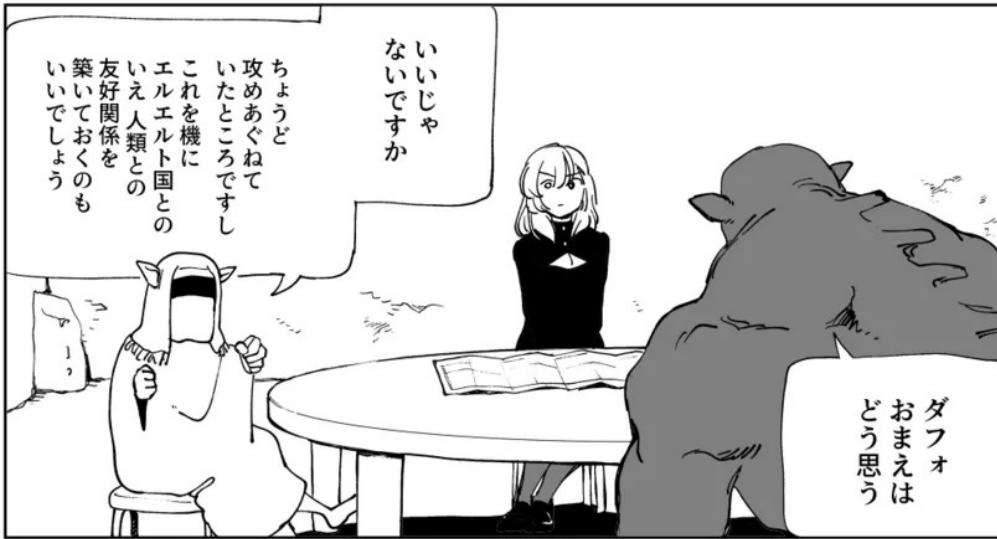
本件にはこの3つの勢力が
かかわってくる



エルエルト国はいくつかの要因から
国家存亡に関わる
切迫した状況下にあった
状況を打開すべく図った奇策
それがオークコロニーと協力しての
ヌマ国への侵攻である



イザヨイは自国に不利な情報を隠しつつ
この協定がいかに
お互いに利益あるものかを説明した



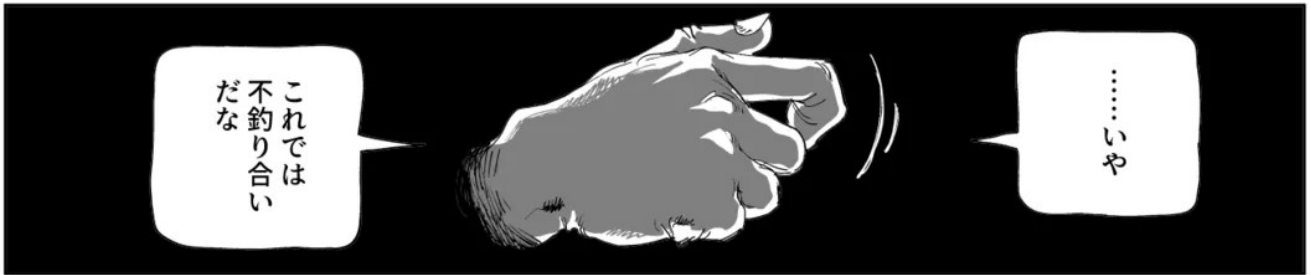
ちようど
攻めあぐねて
いたところすし
これを機に
エルエルト国との
いえ人類との
友好関係を
築いておくのも
いいでしょう

いいじゃ
ないですか

ダフオ
おまえは
どう思う



……



これでは
不釣り合い
だな

……いや



何をくれる
土地か？
物資か？
金銭か？

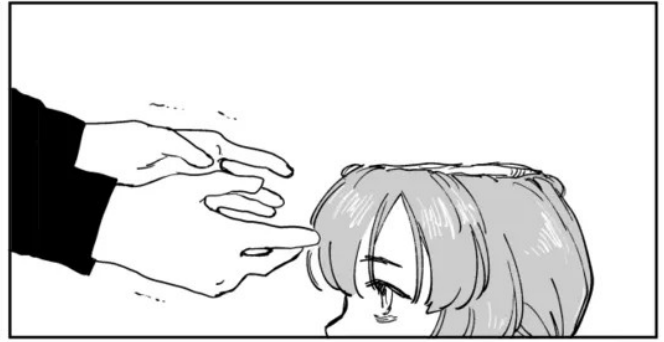
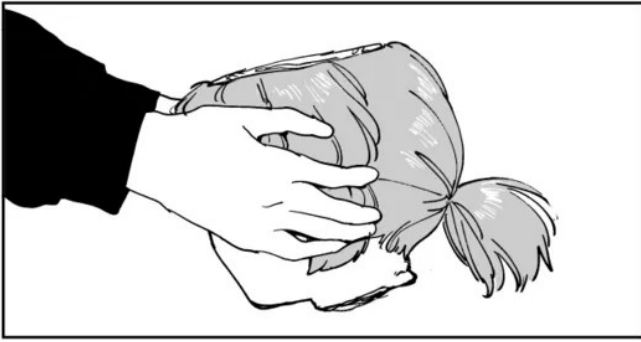
同盟などと言って
そう都合よく
利用される
わけにもいかんさ
我々の協力に
見合った「報酬」
——
用意していない
わけじゃあるまいな

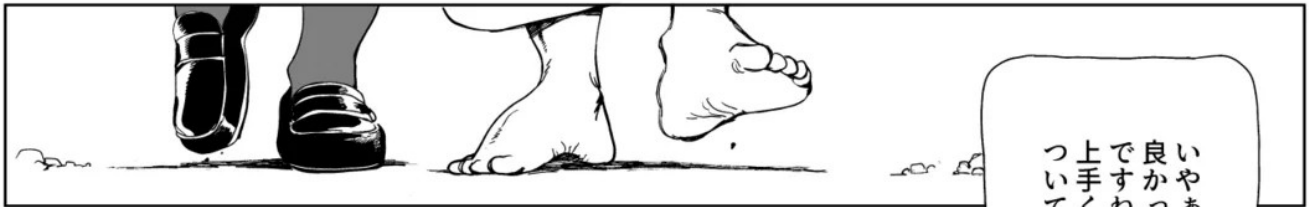


もちろんのこと
お礼の品を
ご用意して
おります

……







いやあ
良かった
ですね！
上手く話が
ついて



ところで
アレって
イザヨイ様の
発案なんです
か？

ち……
違います！
私じゃ……

ああ
そうなん
ですか
なら
エルルト国には
他にも優秀な方が
おられるんですねえ



それで
ですね……

そう……
私じゃ……
私じゃない
私はただ
この件を
伝えて……
協定を締結
させる……
それだけが
仕事……

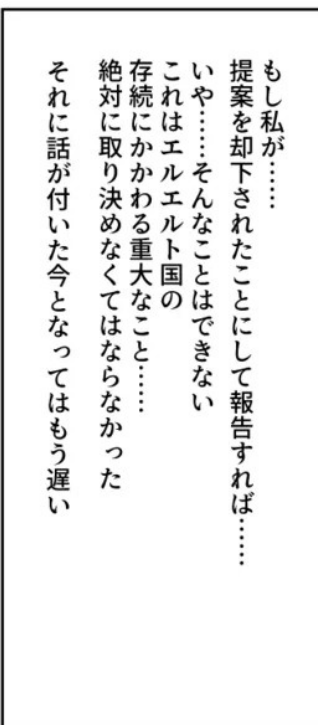


いや……
私はやるべき仕事をし
目的を達成した
それでいいんだ

でも……！
いや……考えるな



メベール小隊……
既に壊滅していたなんて……
実はヌマ国は弱体化していた……？
ならオルクの協力を求めなくても……
いや……それは
あまりに楽観的
……ありえない
しかし……
オルクの勢力が想定よりも強いのなら
ここで協定を結ぶことが将来的な脅威に……



もし私が……
提案を却下されたこととして報告すれば……
いや……そんなことはできない
これはエルルト国の
存続にかかわる重大なこと……
絶対に取り決めなくてはならなかった
それに話が付いた今となってはもう遅い



返礼品は……
他国から……奴隷などで……
方法はよく聞いてないけれど……
とにかく用意できるらしい
国民ではない……
関係ない人たちを……
100人……
いや……
たかだか100人……！





そう思う
でしょう!?
イザヨイ様!



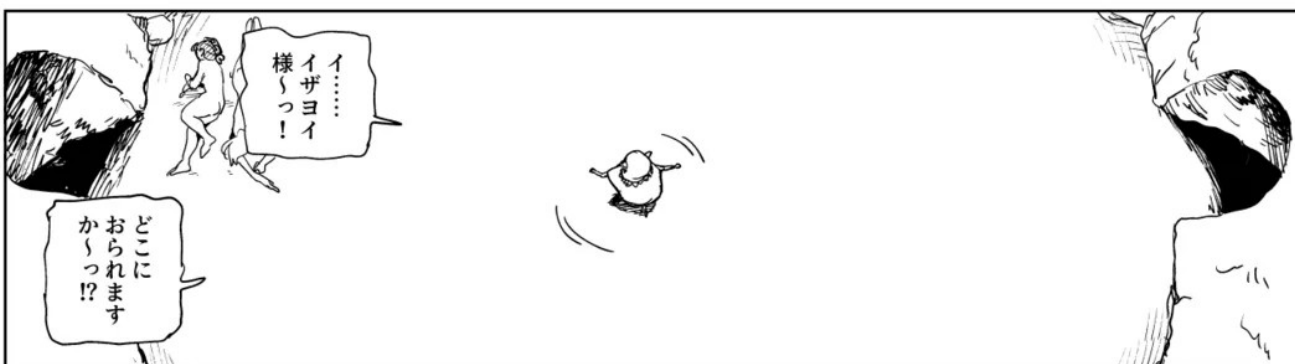
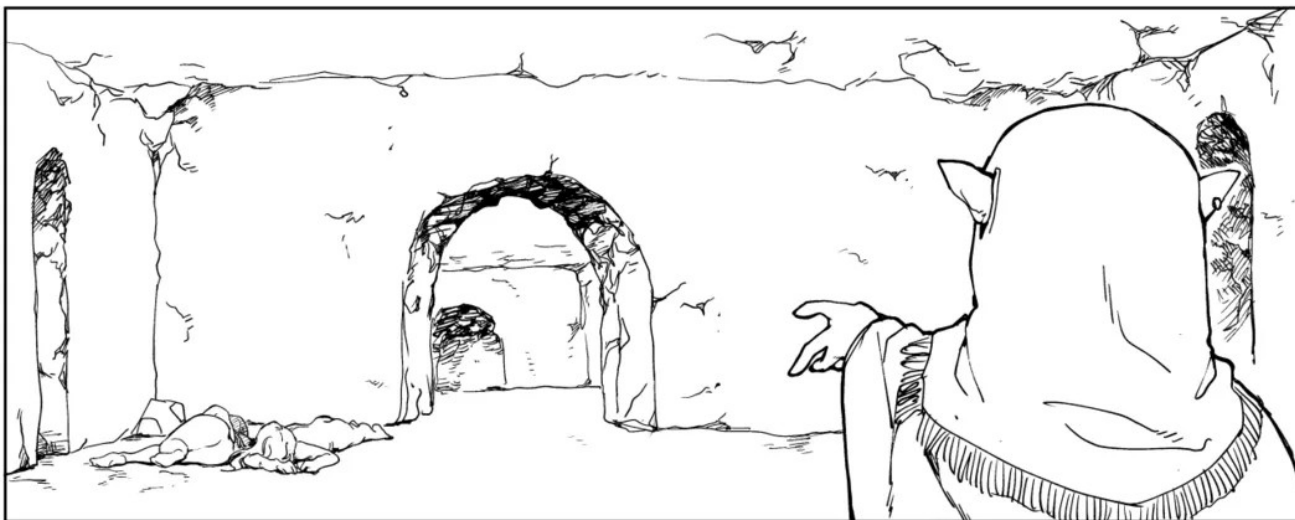
——もちろん大きな反発も
あるでしょう! 障害が
立ちふさがることでしょう!
ですが一歩ずつ
歩みを進めることで
いつしか必ず実現することが
できるはずですよ!

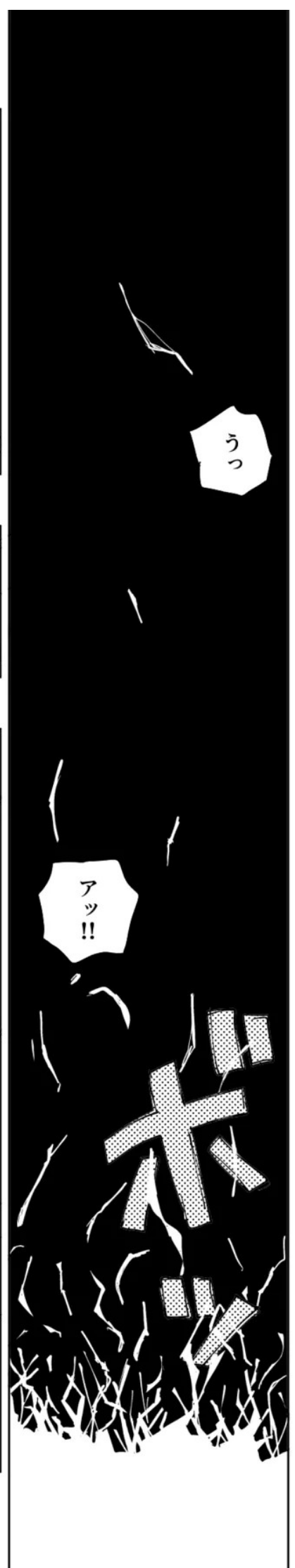


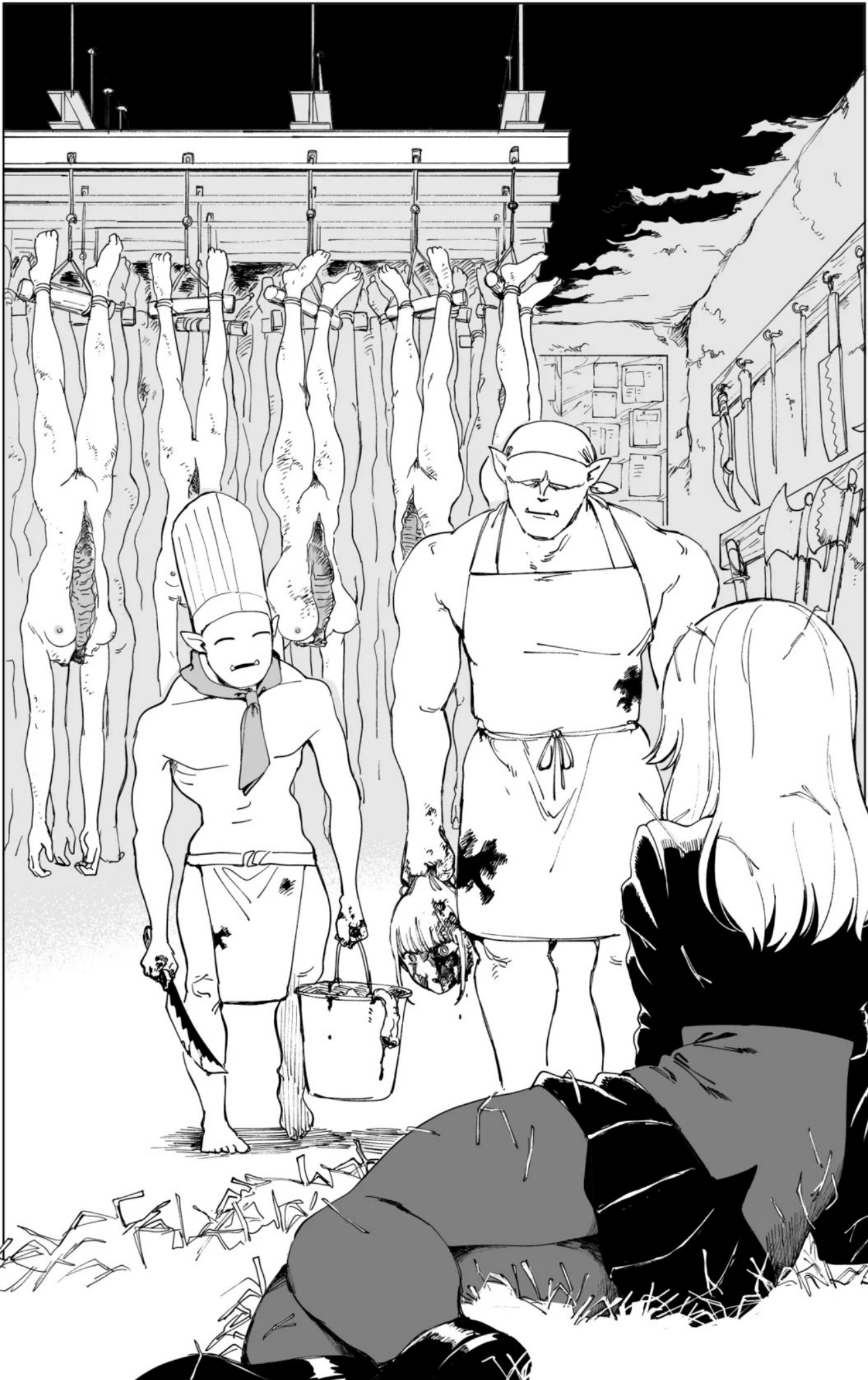
——そこで人間貿易!
良いじゃないですか!
これまでは略奪という手段を
とっていましたが今後は
お互いのルールに則った
クリーンな手段で女を——

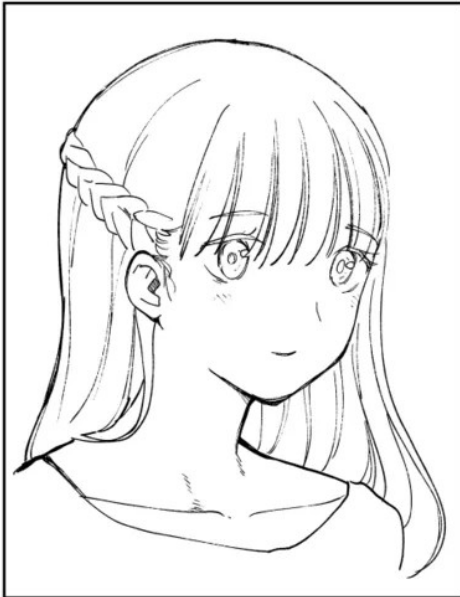


——もともと族長はあまり
積極的ではなかったんです
ですがこうして
協定関係は結ばれた!
イザヨイ様が我々に友好的に
歩み寄ってくれたおかげです
人類とオーク族
その友好の歴史が——









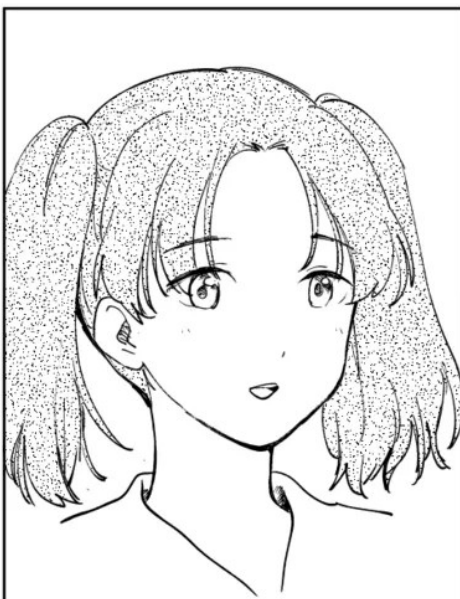
シャン(19)

農村部の出身。隣村の農家のもとに嫁いだ少し後にオークの襲撃を受け巣窟に連行された。巣窟に来て32日目、頸部を刺され死亡した。この場で殺害されなかったとしても翌日には衰弱死していただろう。



エルザ(28)

夫と2歳の息子がいたが目の前でオークに殺害される。その際に少しも戦おうとせずに逃走してしまったことを後悔している。巣窟に来て12日目。



カタリーナ(17)

巣窟に来て3日目。生還の希望をまだ捨てていない。エルザとは巣窟で知り合い心の頼りにしているためあまり離れないようにしている。



エディス(20)

冒険者。「オークに捕らわれた娘を救助してほしい」という依頼を受け巣窟に侵入する。しかしオークとの対面を避けられず戦闘になり、敗北し捕らわれてしまう。その際にオーク1匹を殺害、2匹に重軽傷の怪我を負わせたためオークらの恨みを買った。

本人の目の前で下半身を犯す様を見せつける遊びが流行る。巣窟に来て3日目。この2日後に死亡。



フィノラ(21)

啜えさせられたオークの陰茎に嘔みついたため生きのまま食肉加工部屋に落とされてしまう。前日に彼女の友人がそのオークに鬨り殺しにされおりその復讐であった。嘔み切るつもりだったが深い傷を付けることはできなかった。

解体されこの日の晩に刺身としてオークらに振る舞われた。首はフィノラに陰茎を嘔まれたオークが私物化している。



セリア(27)

族長ザルポのここ数日のお気に入り、応接間に連れ込まれて使われるほどであった。もともとは小さな町で教師をしていた。

メアリー(16)

先月死亡

モーラ(15)

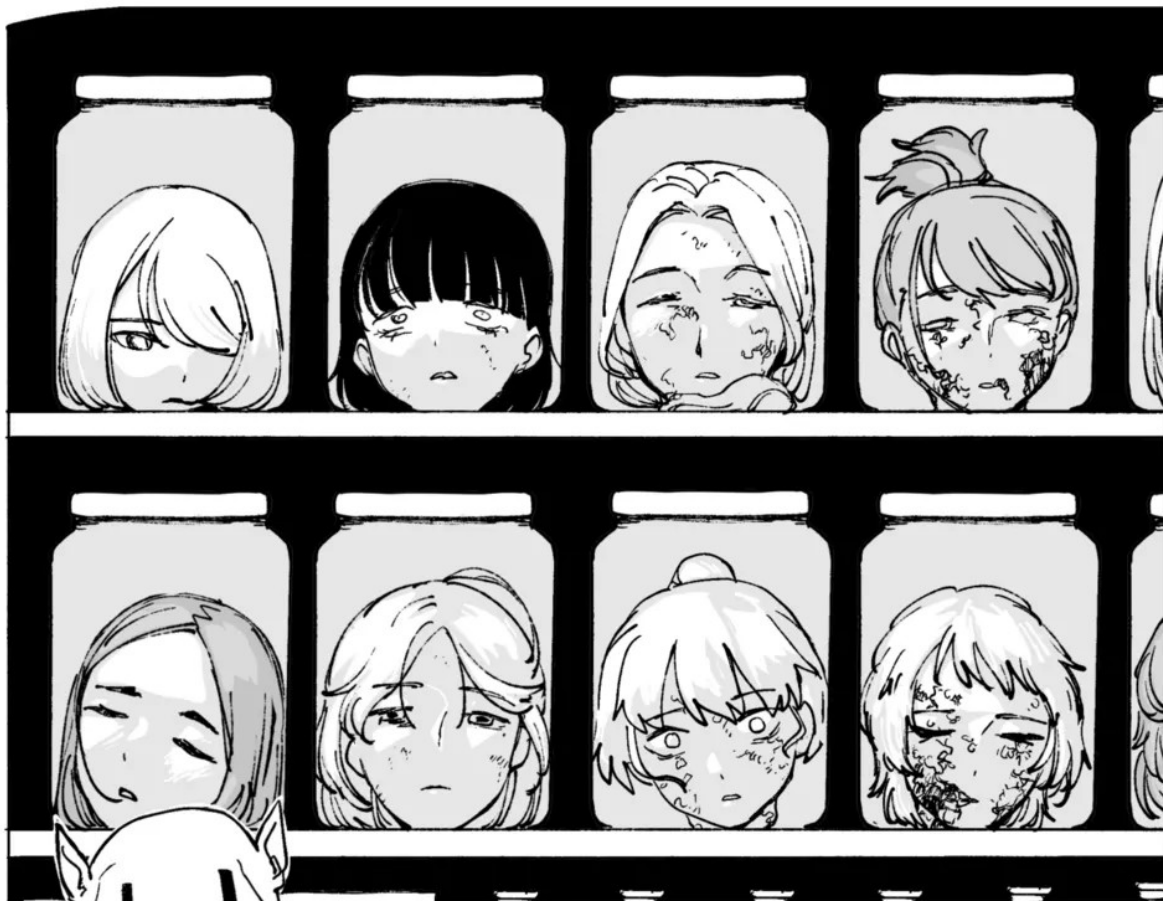
2年前に死亡

フィノラ(31)

4年前に死亡

ジェン(18)

6年前に死亡



マジェーリ(24)

先月死亡

シャンテル(27)

2年前に死亡

ジーン(20)

4年前に死亡

アマベル(21)

6年前に死亡

保持液と呼ばれるンドロボドロの開発した特殊な液体は死体を浸らせることでその間不敗の進行を大幅に遅らせることができる。改良を重ね精度は年々向上している。

死亡時の条件を揃えるため、実験体は生きたまま首を切られ、その場で血抜き・洗浄され瓶に詰められている。それらはすべてンドロボドロ自らが心を込めて行っている。



ロッダ(25)

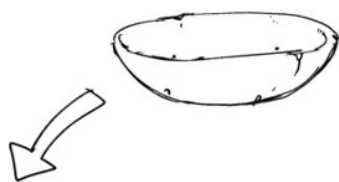
メベール小隊の隊長。
軍事面・政治面で高く評価され、
ロッダの存在は周辺敵国を警戒させた。
オーク軍の奇襲を受け、その際に
オーク軍の若き英雄・ビートンに
よって討ち取られた。

[メベール小隊]

ヌマ国軍の女性のみからなる30人ほどの部隊。
兵士個々の練度が高くヌマ国最強の部隊と呼ばれることも多かった。

ヌマ国西部には亜人種族が支配する地域が広がっている。
西部での国防はメベール小隊が中心となり行われていた。

オーク軍との戦闘の末、策略面で後れを取り大敗を喫し、メベール小隊は壊滅。
兵たちの亡骸が祖国に還ることはなかった。



切除した頭蓋骨を
逆さに返してはめ込む

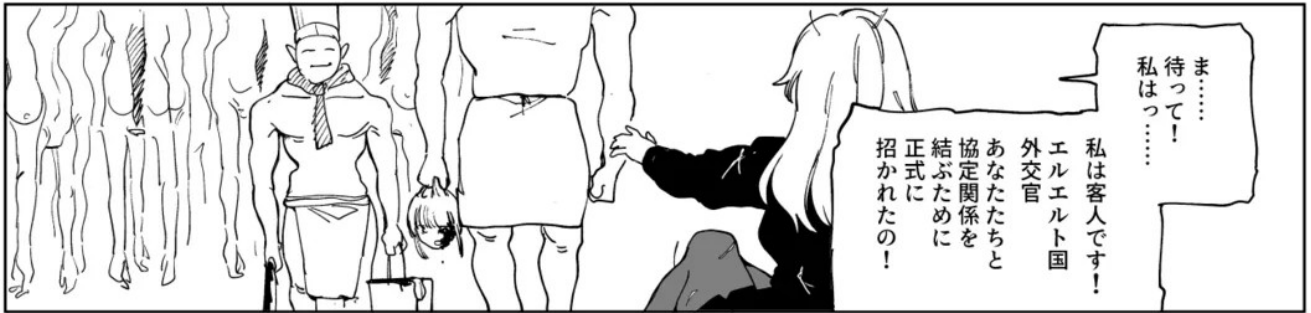


髑髏杯

飲み物がなんだか美味しくなる
取っ手と飲み口に改良の余地あり



こう飲む





ずいぶんな
上玉じゃねえか
エロい体して……
ムラムラしてきたぜ

生きた女が
二人も落ちて
くるなんて
今日は珍しい日ネ

X
X
X



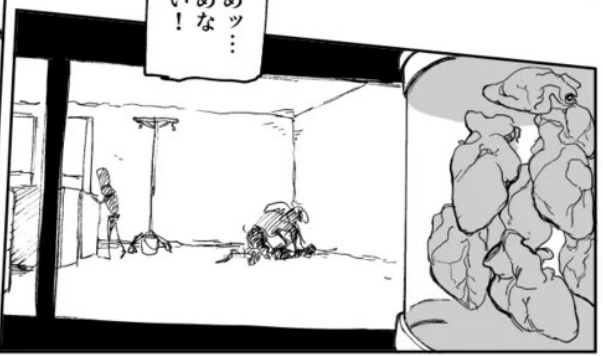
なんで服
着てんだ？
まさか未使用品
か……？

ワタシ分かるネ
これは頑張ってる
ワタシたちへの
ご褒美！ そうとしか
考えられないネ

そ……
そうか！
つまり……

X
X
X









……ずいぶん
ポロポロネ

それが
だな……



うーん
tastyネ



そろそろ
終わった
ネ？



もう声を出す
元気はないかも
しれないネ



人間の女は
脆いネ
きっと内臓は
ズタズタネ

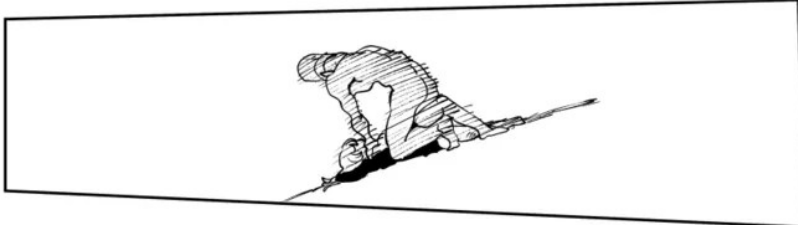
すまん
……

ちょっと
おとなしく
させようと
腹を一発
殴ったんだ





だったら
無理矢理
鳴かせれば
いいだけネ





ふう……
かなり
良かったネ

じゃあ
そろそろ……
"済ませる"か



例の会合は
終わったん
ですか？

わっ
何の用もすか
ダフォさん



助けに
来ました
イザヨイ様！



目についた女性は
見境なく襲わずには
いられない……
そんな方は
コロニー1の
セックス中毒者の
あなたくらいです！

ポボさん！
イザヨイ様
誘拐の
犯人は
あなただ！



使者の人ってメス
だったもす!?
ゲフッ……
今どこに……
オッパイ
大きいもすか？

……
彼はしばらく
監視しとき
ますよ一応

えっ
つまり
勘違いを…!?
すみません
なんてことを…

ダフォさん
彼は違うよ
今朝から
ご飯も食べずに
そこの女
犯してるもん

ドルトン
死体のエロスの
絵画表現を模索中



イ……
イザヨイ
様〜っ

今助けに
行きます！



モヤ

モヤ



ポボさん
でもない
なんて……

一体
どこに……

ポボ
花より団子よりセックス



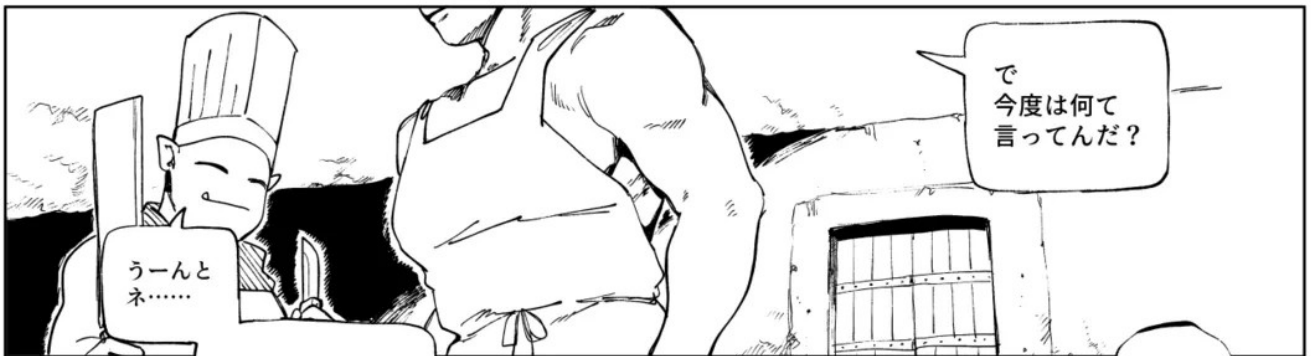
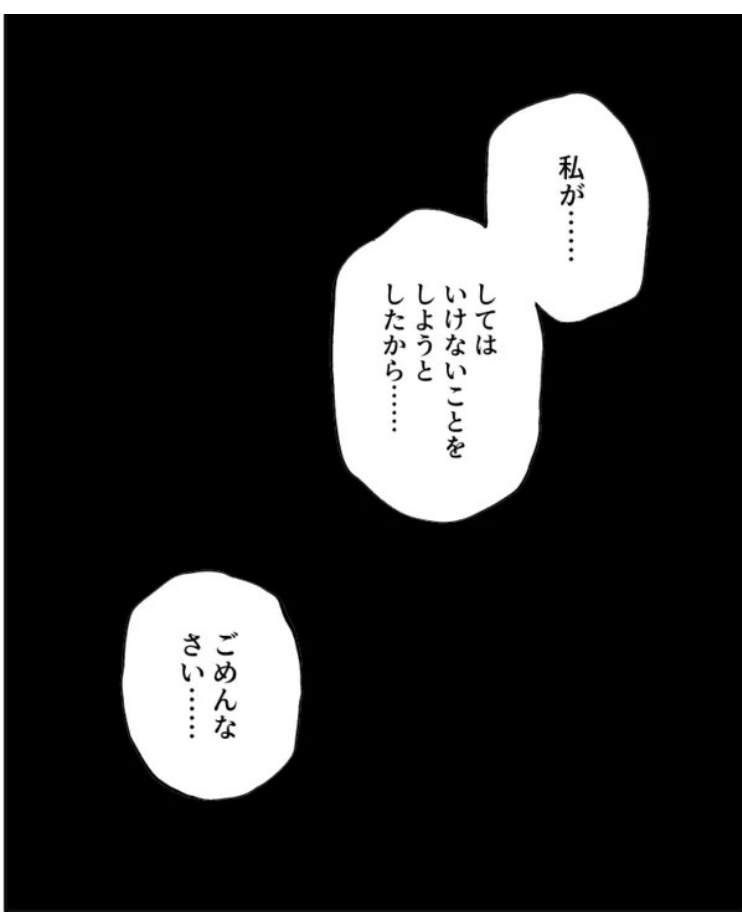
井
井
井

よし
吊るすネ

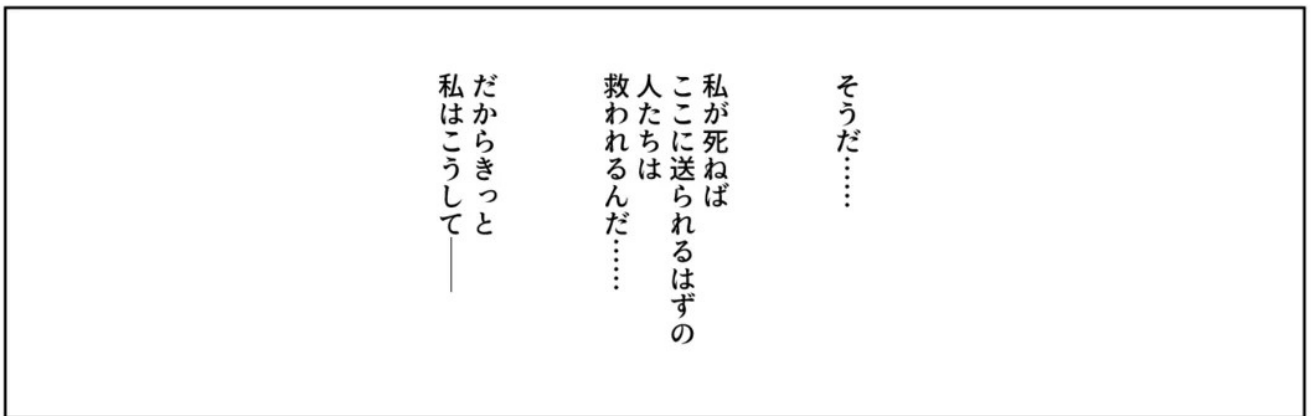
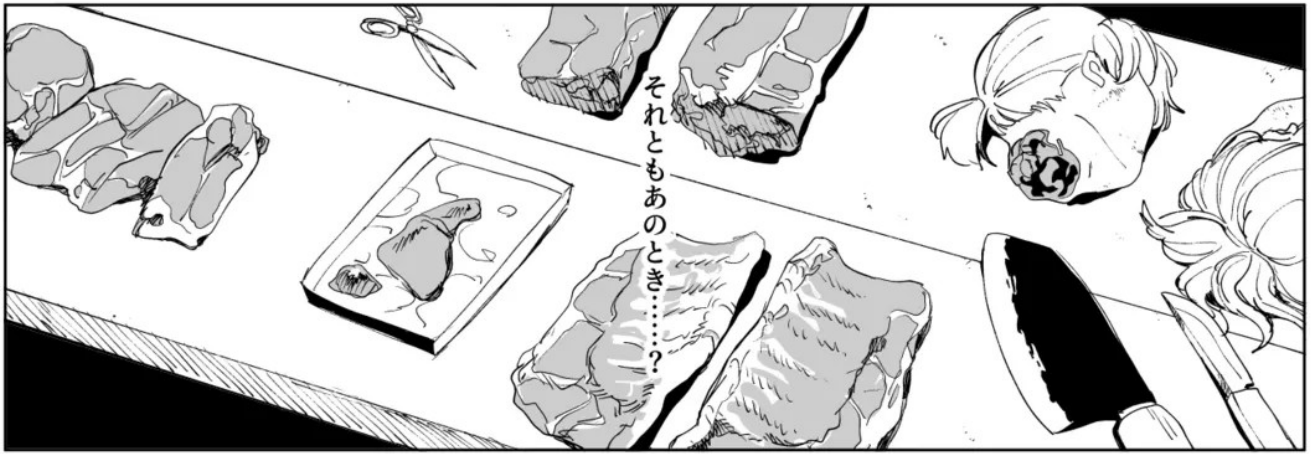
ささ
仕事仕事

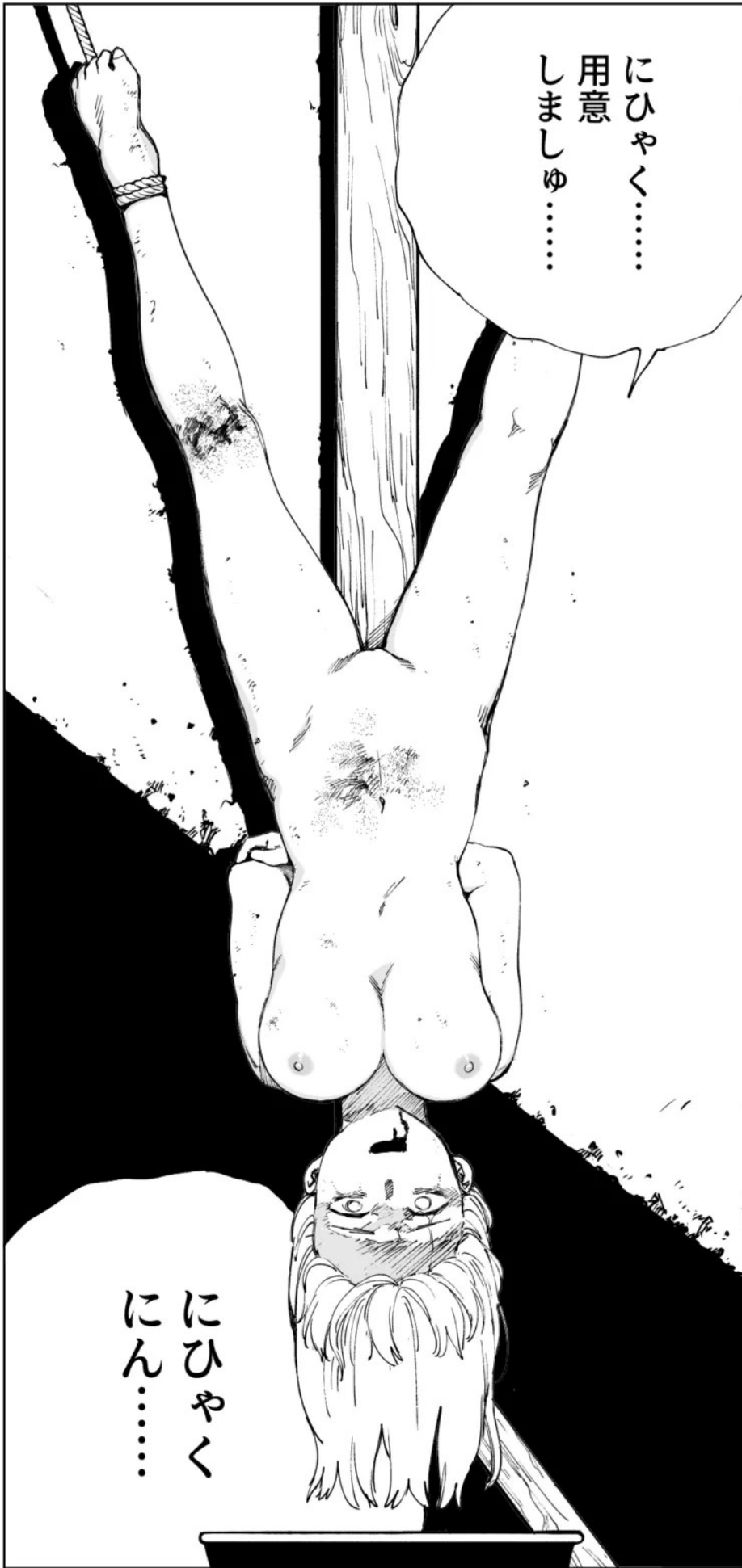
か...

か...



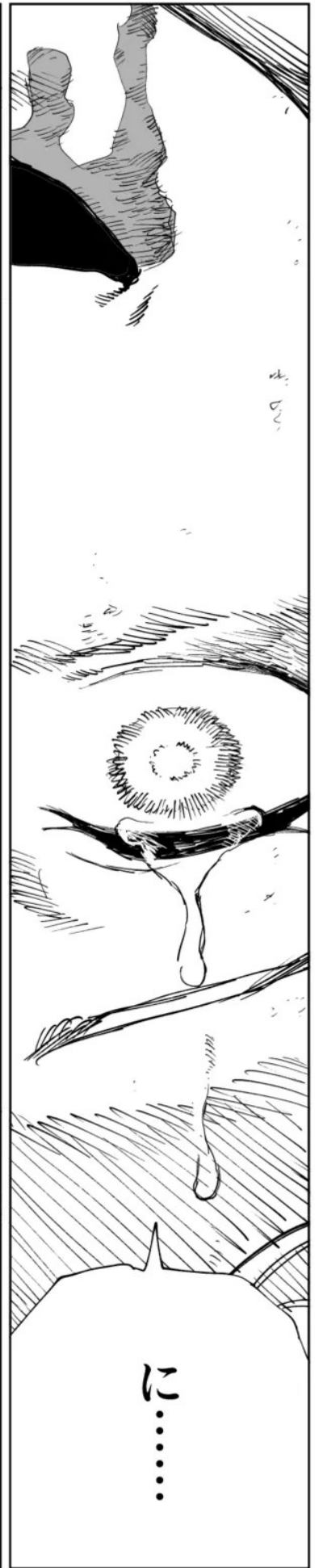




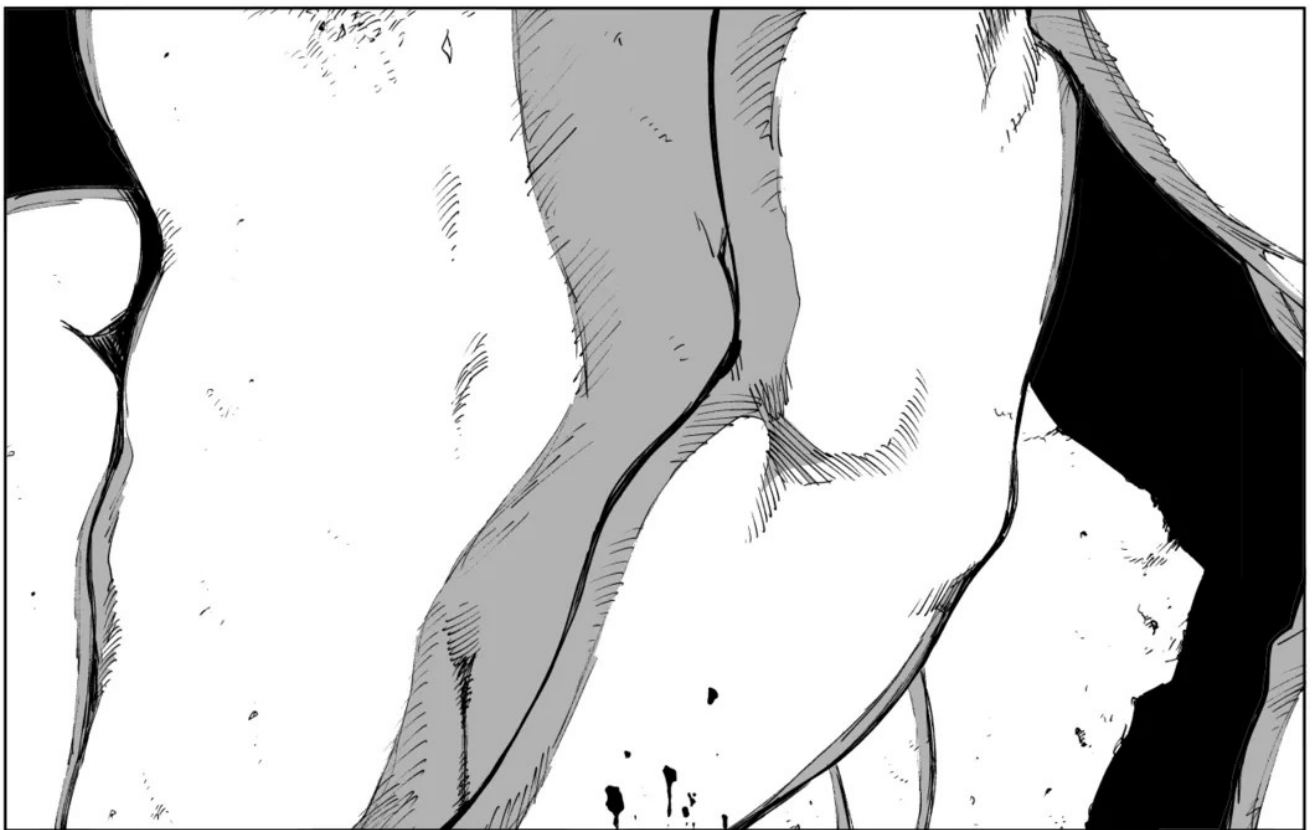


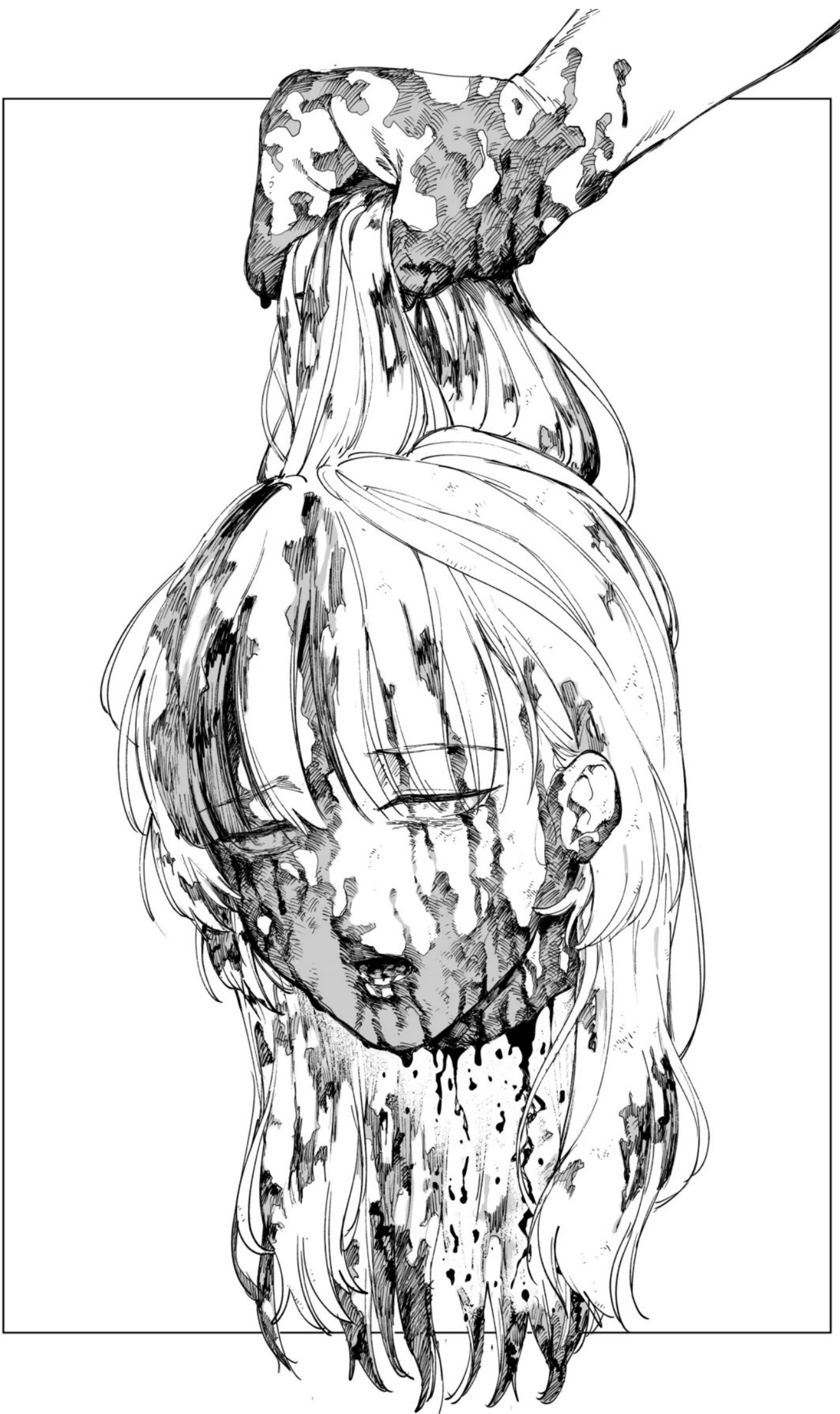
にひやく
にひやく
用意
しましゆ……

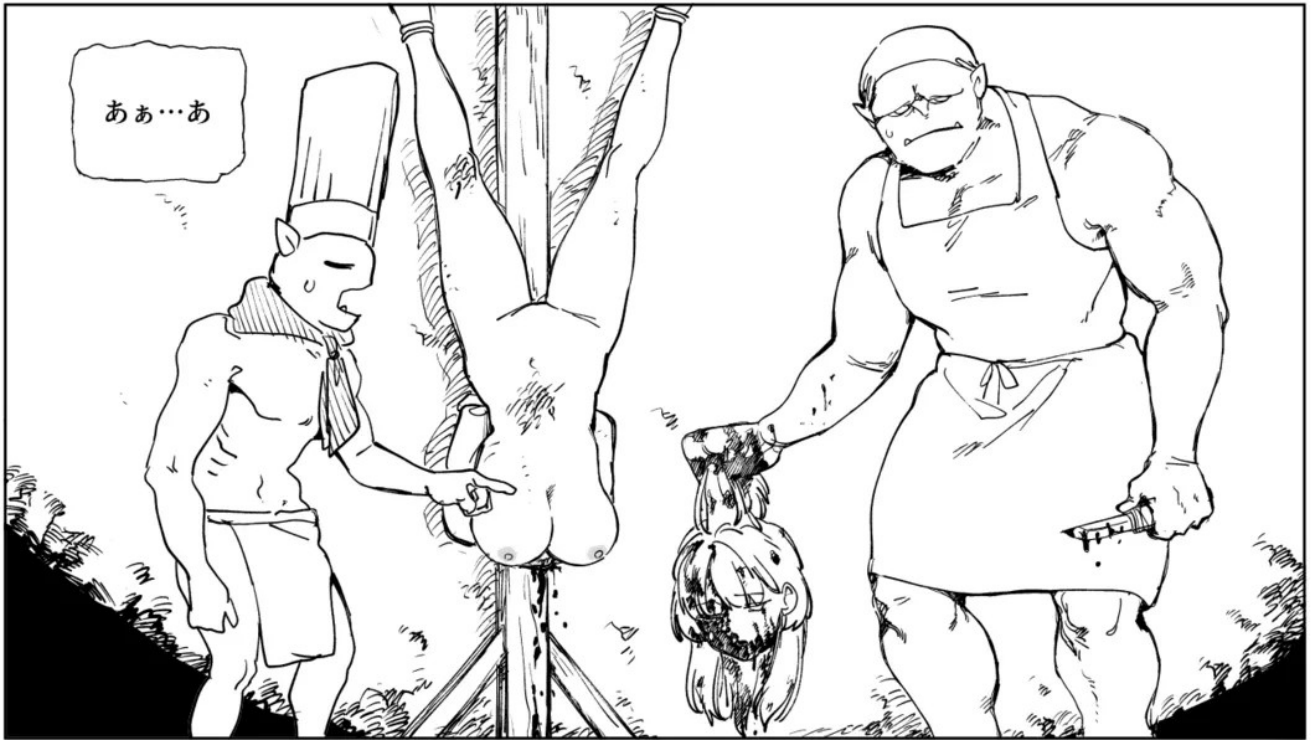
にひやく
にひやく
にん……



に……





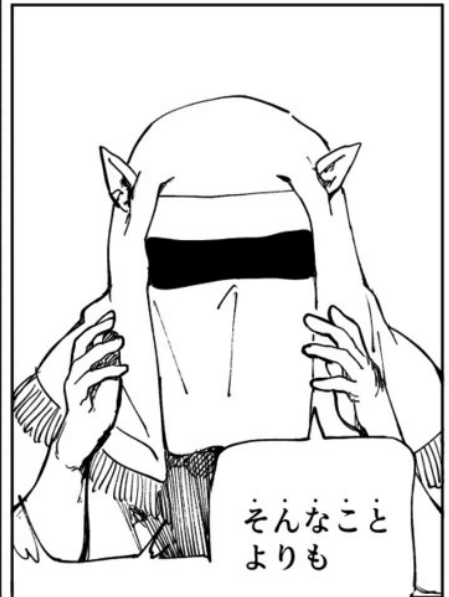






ガッ

ずっと
この
おっぱいに
触りたかった!!



そんなこと
よりも



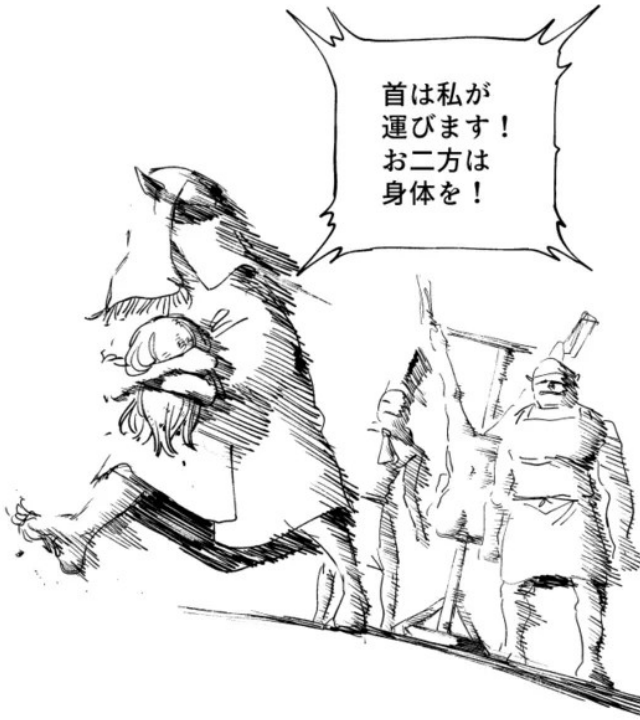
私はッ——!!



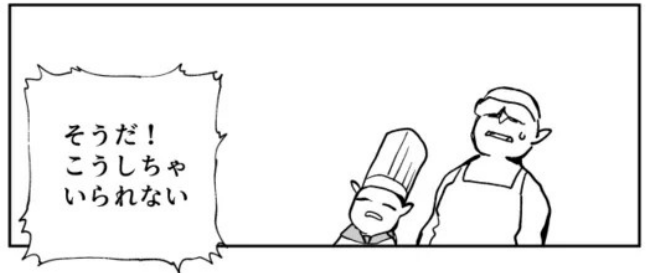
こ……
これが
イザヨイ様の
……!!
す……
すごいッ!



初めに会った
ときから
ずっと——!!



首は私が
運びます！
お二方は
身体を！



そうだ！
こうしちゃ
いられない



早くご遺体を
ンドロボドロ
さんのところへ
運ばないと！



——という
ことが
ありまして……

……



そもそも……
今回の件に
一番乗り気
だったのは
ダフォ
おまえだろ

おまえが
推すから
今回の会談を
受けてやった
のに



おまえら……
なに
やってんだか
まったく……

責任は
すべて
私に……

ええ
エルエルト国は
我々に喧嘩を
吹っ掛ける余力なんて
どこにもないことは
明らかです

それであれだ
今回の件
特に問題は
ないんだな

そうだなあ
万が一何か言われれば
そもそも使者は
来なかったことにして
しらを切ればいいか

そもそも
オークに協力を
仰ぎに来たこと
そこにエルエルトの
実情が現れています

人類の敵とでも
いうべきオークと
協力するだなんて
普通ありえる
でしょうか

ついでに
立地的に見ても
困難ですし

ま
売られてくる
100人ってのに
興味はあった
けどな

さて……

とはいえ
すぐ後ろで
穴に落ちたら
気付くだろ普通
ダフォおまえには
後でなにか
罰を与える！

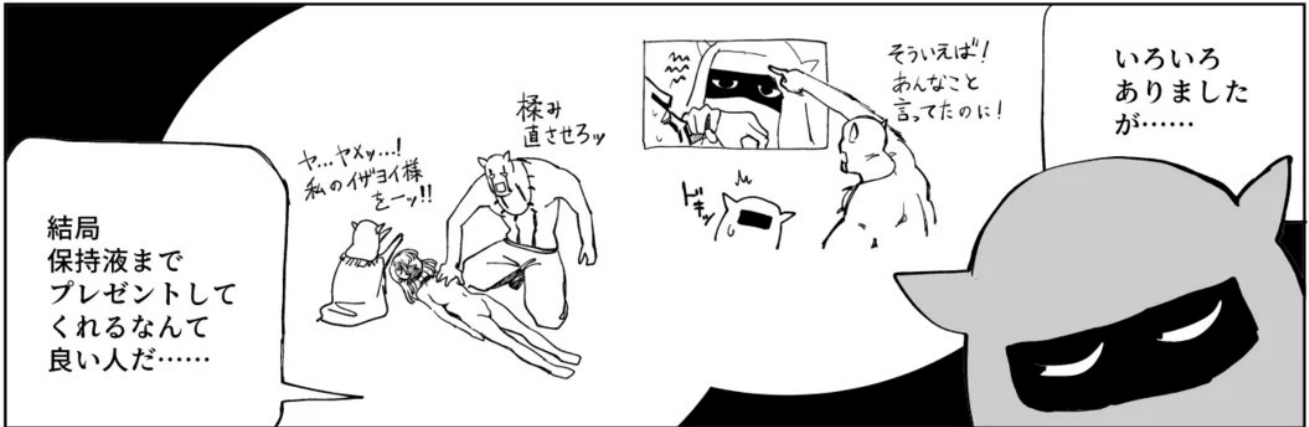
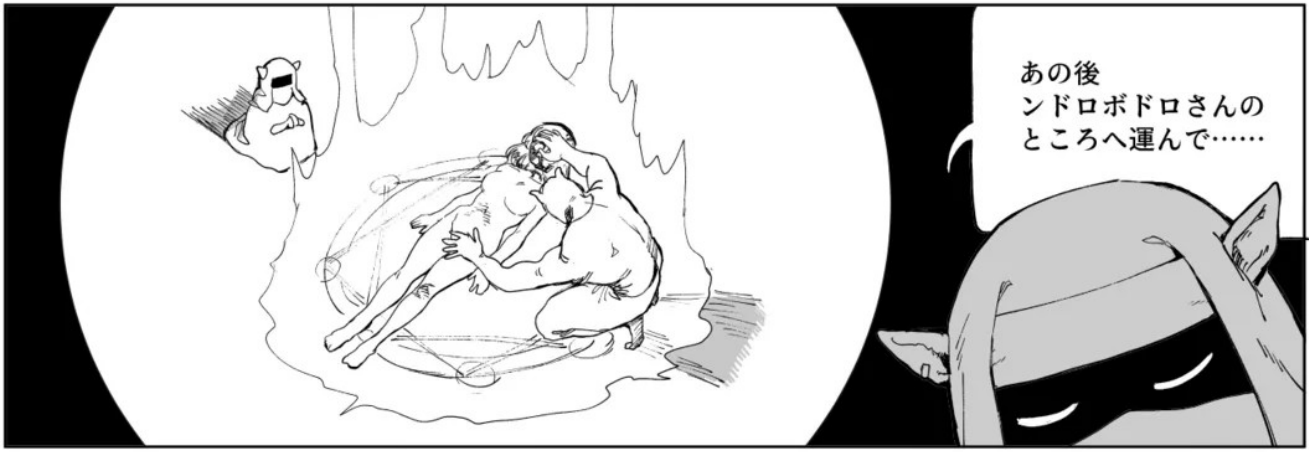
ごもっとも
です



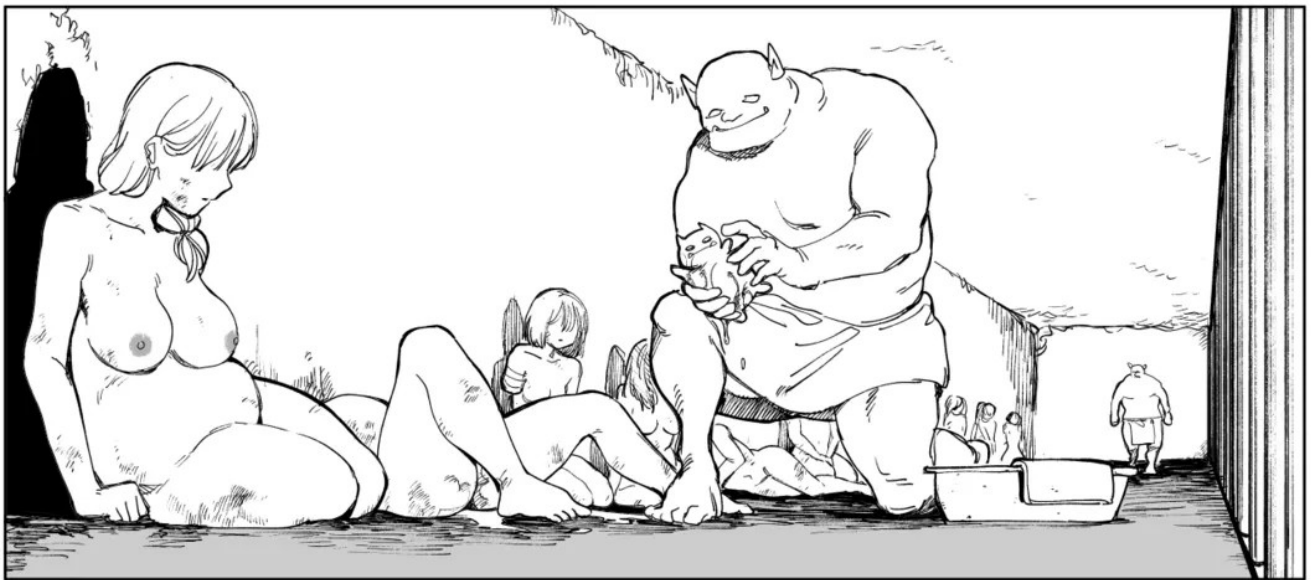
ダフォ
退室

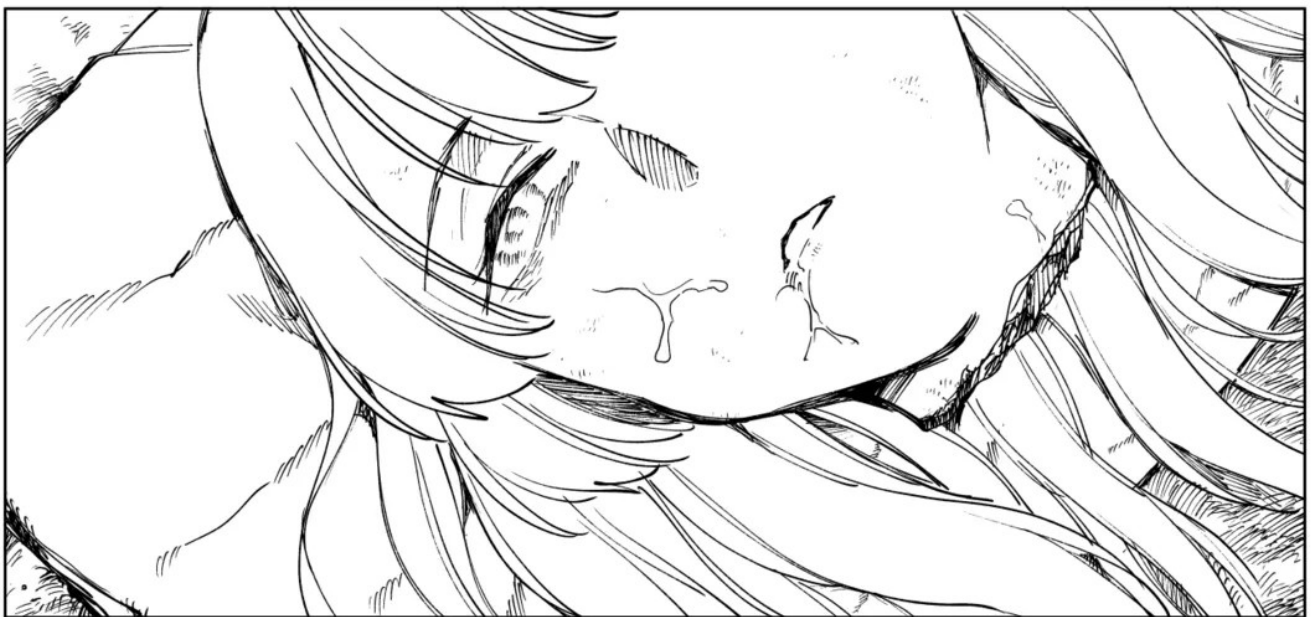
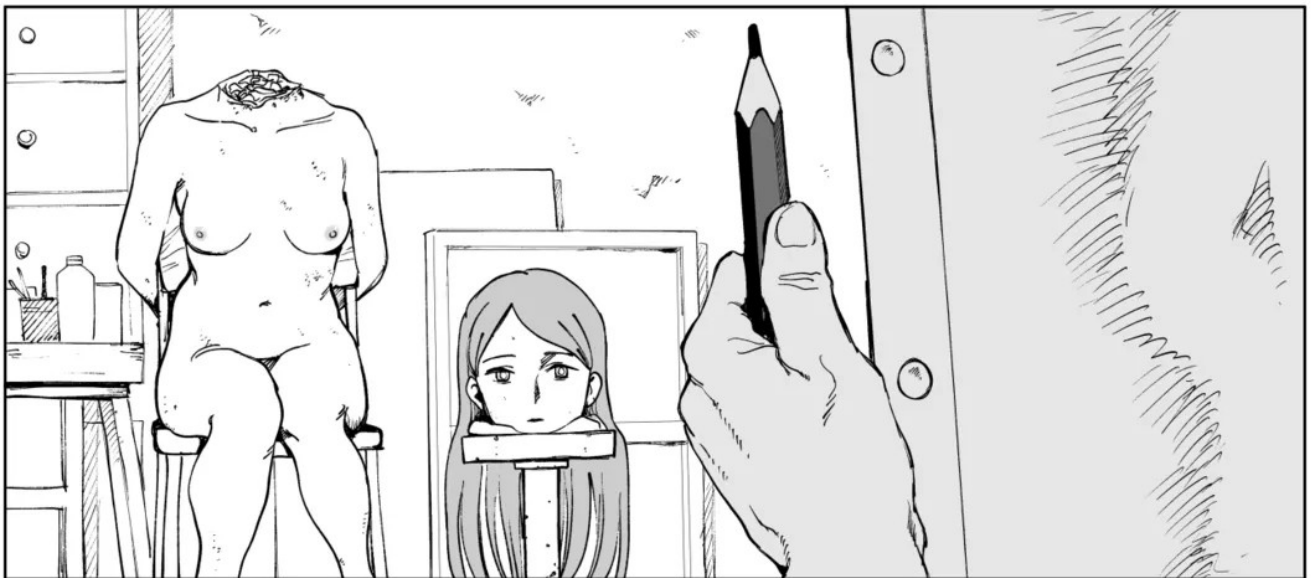


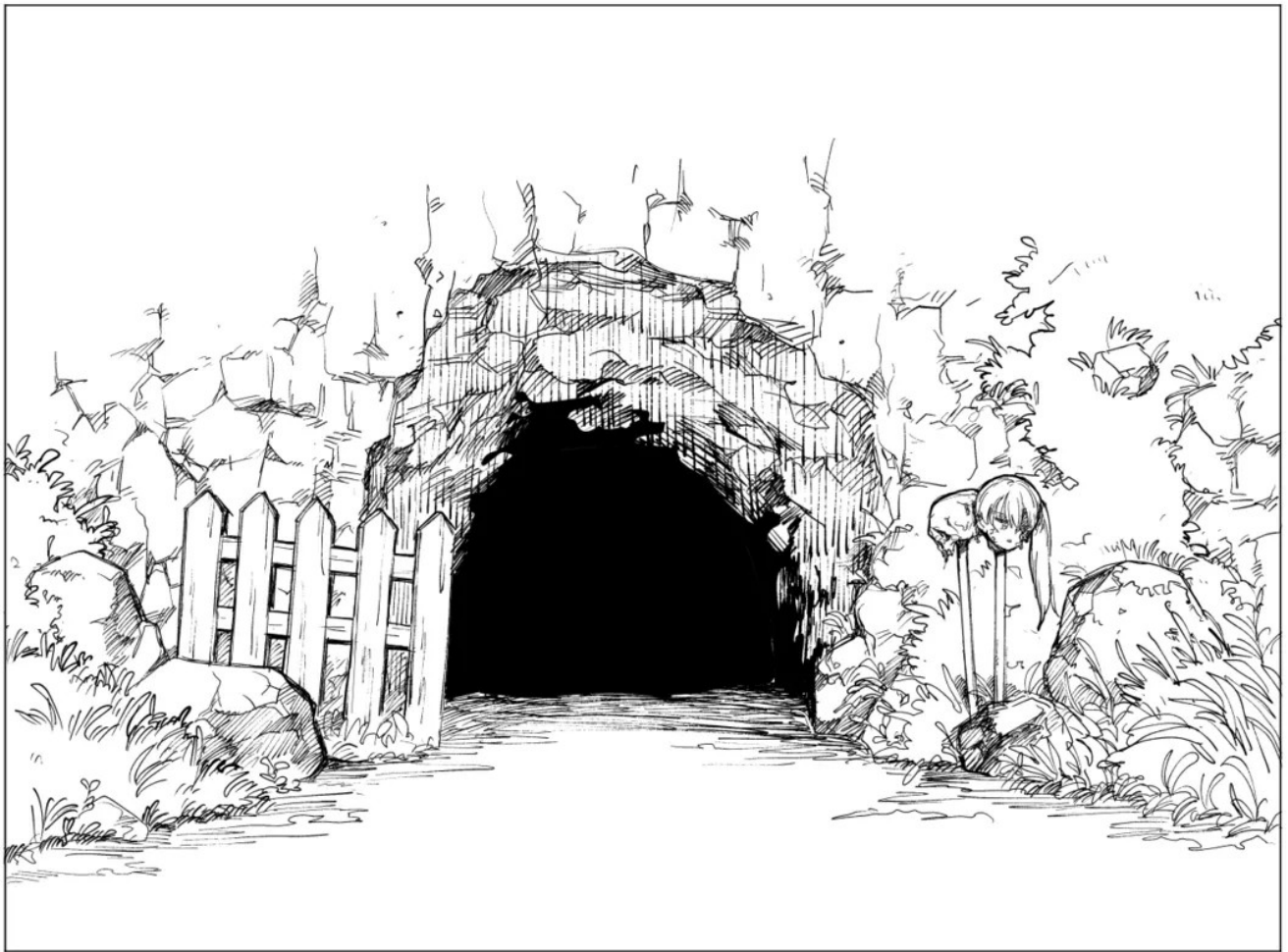
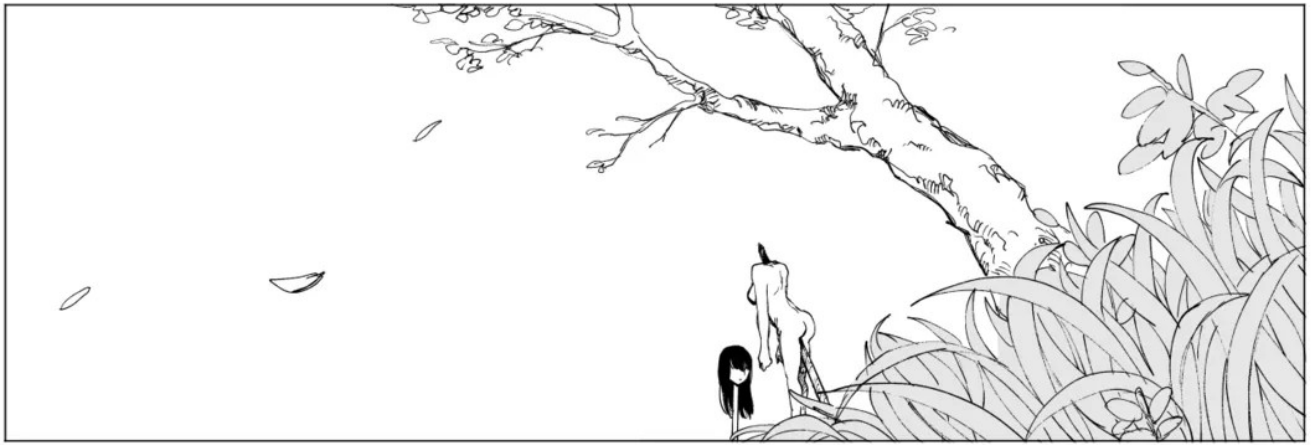




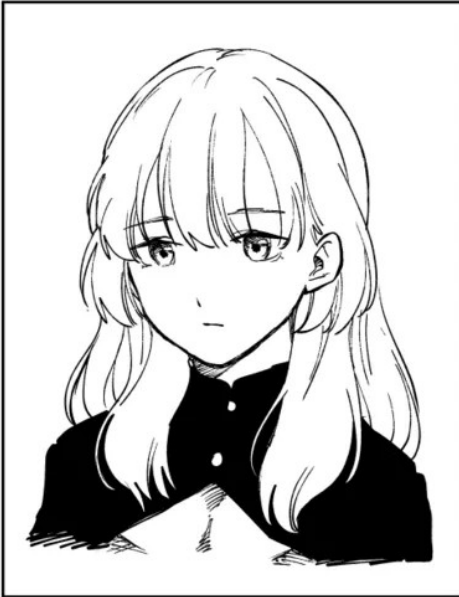








オークの巣窟 禁忌の協定 終



イザヨイ(24)

エルエルト国一の大学を優秀な成績で卒業し外交官になる。生まれはエルエルト国の辺境の村であり、故郷はイザヨイの在学中に侵攻を受け現在はヌマ国の領土となっている。侵攻の際に村は戦火に包まれ家族の安否は分かっていない。数少ないデュード話者であったためオークの巣窟へ向かう任を受ける。巣窟に向かったのち消息不明になる。

コック・オーク
調理の腕はコロニー1
人呼んでコック・オーク
元の名は捨てた



ギャバ
解体担当
グラマラスな女の解体が一番好き



ボボ
誰しものが認める
コロニー1の性豪

ドルトン
後に女の死体を主に描く正体不明の
画家として人間社会にも流通し高い評価を得る。
代表作に「落首拾い」「悲劇の外交官」などがある。



ンドロボドロ

オークの抱えてきた“女体不足問題”も過去の
こと、ンドロボドロの開発した「保持液」および
『腐敗防止(クサリニク)』はオークの生活に
革命をもたらした。歴史の教科書がつくられる
ならば彼の名は載るにふさわしいと言える
だろう。弟子も多く、彼の指南を請うため
遠方から足を運ぶ者も少なくない。



ザルポ

かつてこの地域では複数のオークコミュニティが
バラバラに自治を行っていた。今や彼らは
手を取り合いひとつの勢力として周囲の脅威に
対応できる安定した力を手にしている。
彼らをまとめ上げたのが現族長・ザルポであり
それを可能にしたのは彼のカリスマによる
ものであろう。



ダフォ

軍事戦略の立案に長けており、近年のオーク
勢力の拡大において彼の功績は欠かすことは
できない。「シーベス谷の戦い」にてメベール小隊
ロダ率いるヌマ国軍を破りオーク軍を大勝に
導いたことは記憶に新しい。

〈ゲッカとイザヨイ先輩(前編)〉



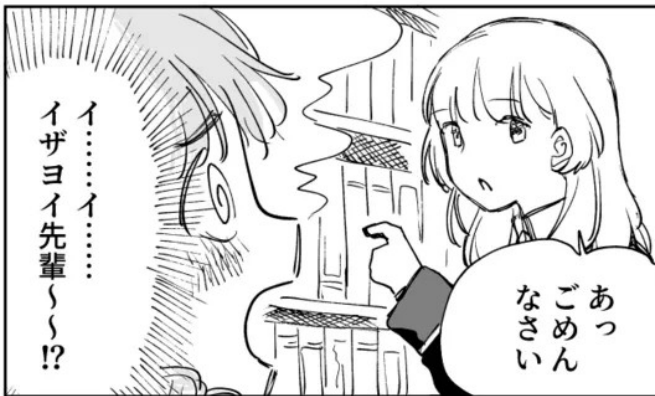
私—ゲッカには
気になる人が
いるんです

それは同じ学科の
イザヨイ先輩♡

とびきりの才女で
容姿端麗
とってもカッコよくて
私の憧れの人なの



[大学図書館]



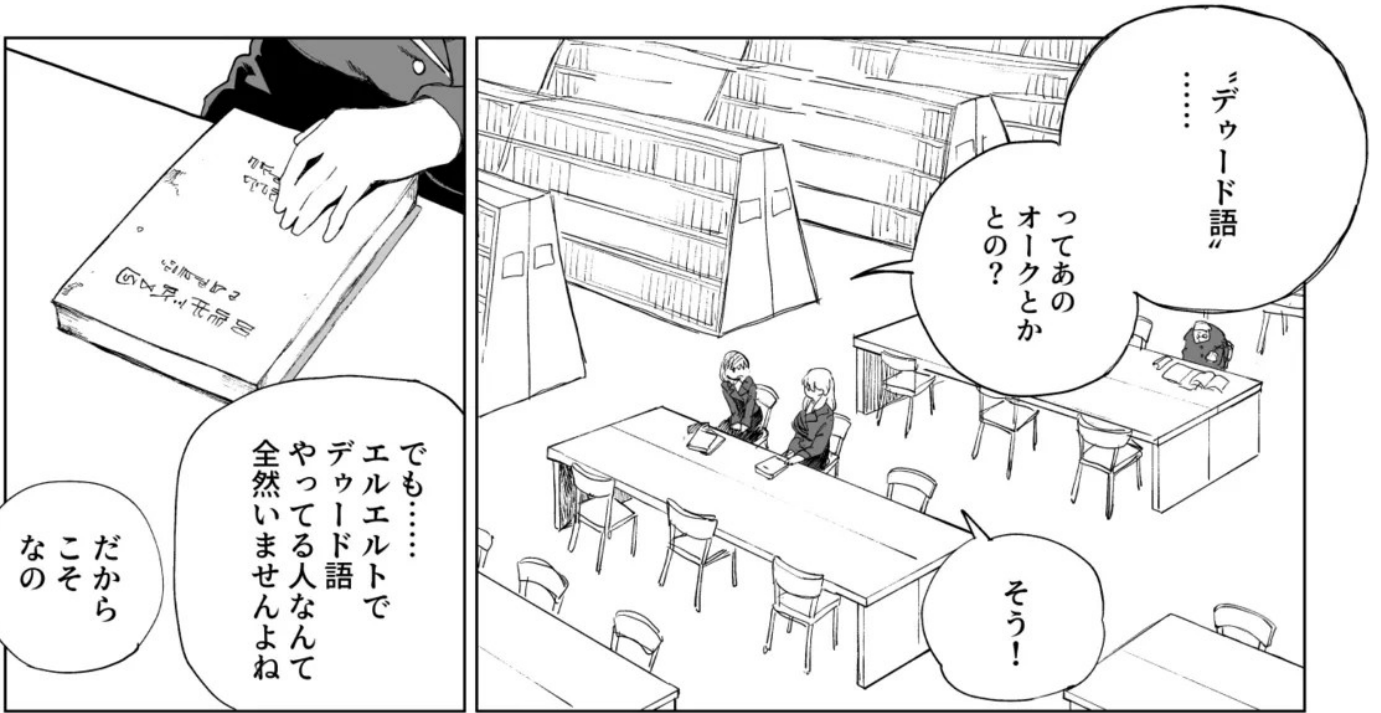
イ……イ……
イザヨイ先輩……!?

あっ
ごめん
なさい



あ





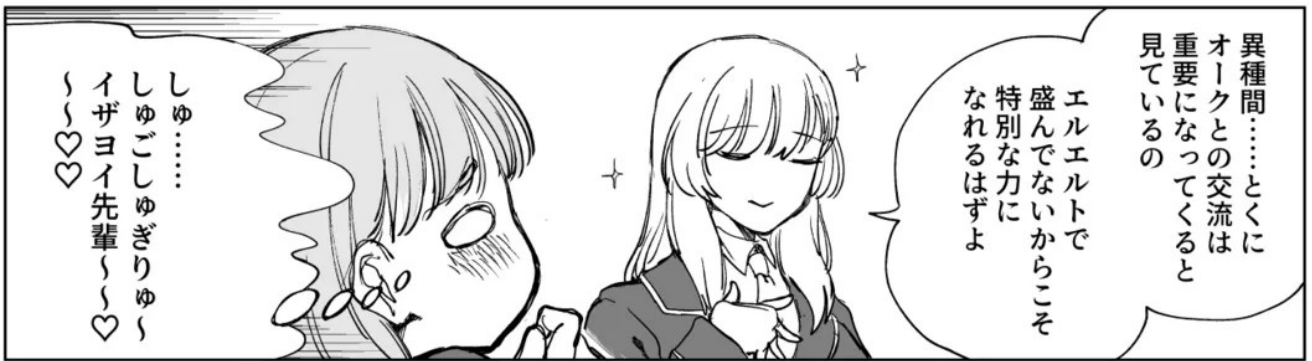
「デワード語」
……

「ってあの
オークとか
との？」

「そう！」

でも……
エルエルトで
デワード語
やってる人なんて
全然いませんよね

だから
こそ
なの



異種間……とくに
オークとの交流は
重要になってくると
見ているの

エルエルトで
盛んでないからこそ
特別な力に
なれるはずよ

しゅ……
しゅごしゅぎりゅ
イザヨイ先輩……♡
♡♡♡

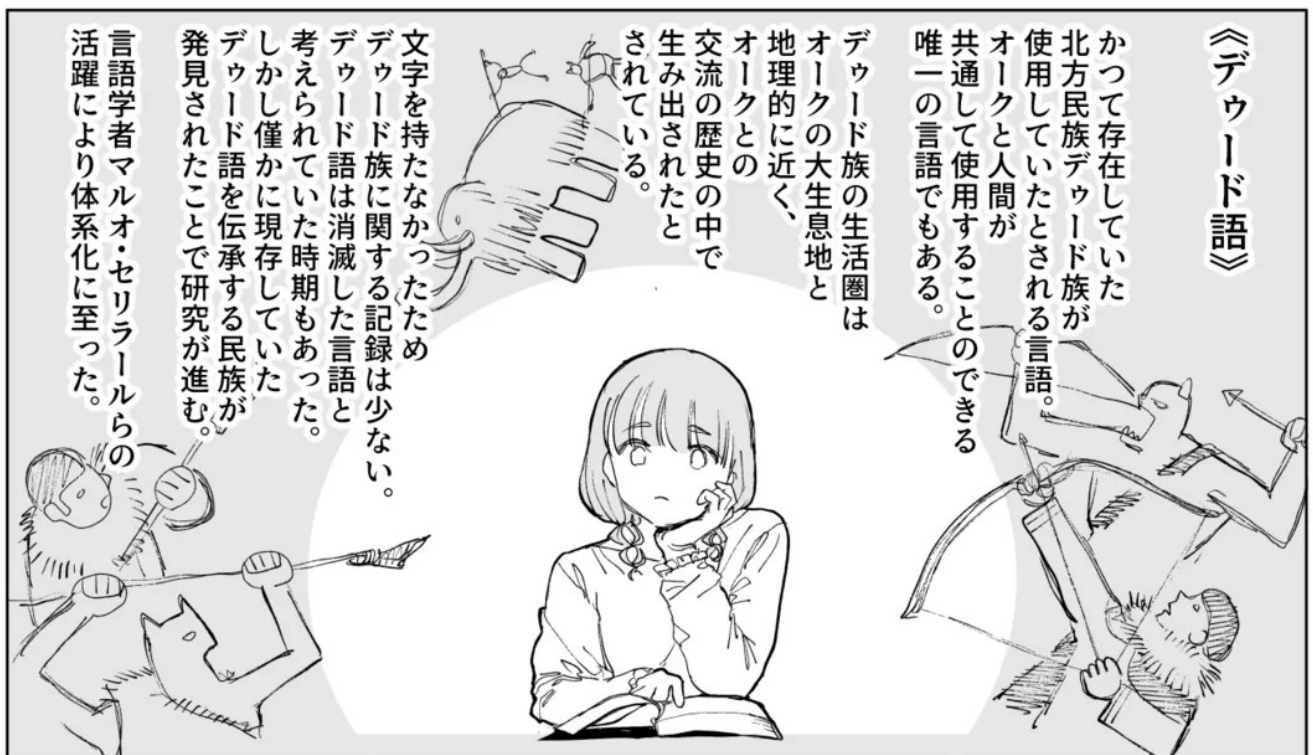
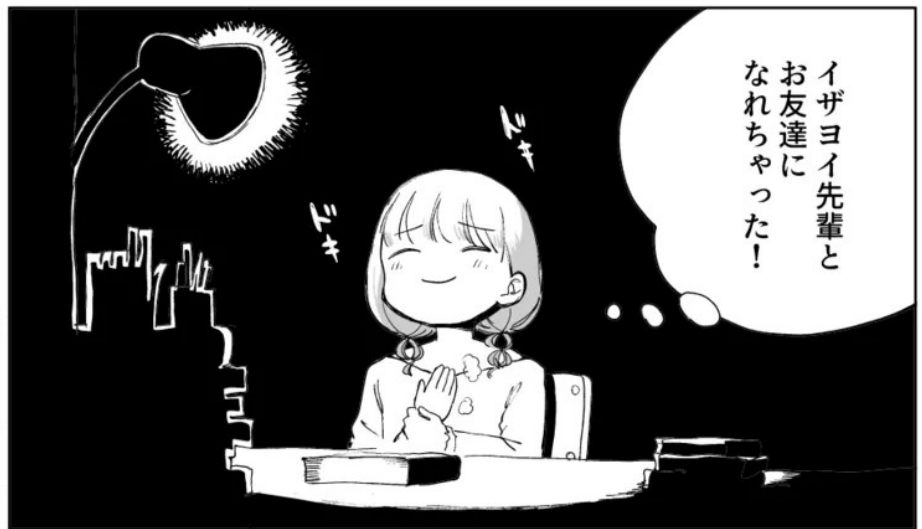


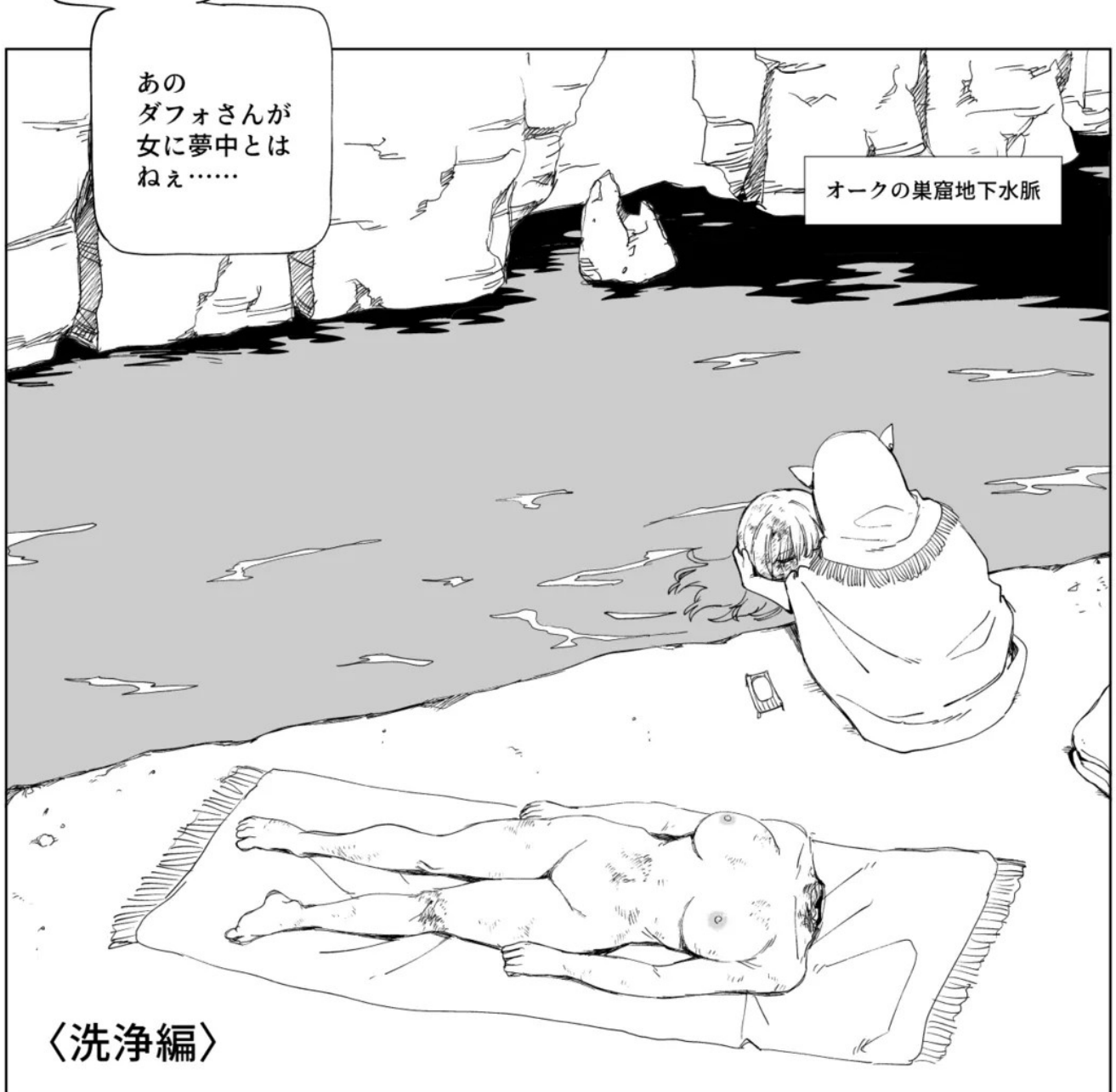
わっ……
私もやります！
デワード語！

じっ……じっは
興味あったんです
ホ……ホントにっ！

そうだったのね
同じ志の人に
会えて嬉しいわ！
いっしょに
がんばりましょうね

こうして私は
イザヨイ先輩と
お近づきになれたのです







よく見ると
あちこちに傷が……
ですが付いた傷さえ
愛おしく思えます



これで拭き残しは……
おやおっばいの下を
忘れていました
これでよし!



〈屍姦編〉



いろいろ考えましたが
イザヨイ様とはじめては
お回することになりました
これがイザヨイ様の
お口に包まれる
感覚……！！

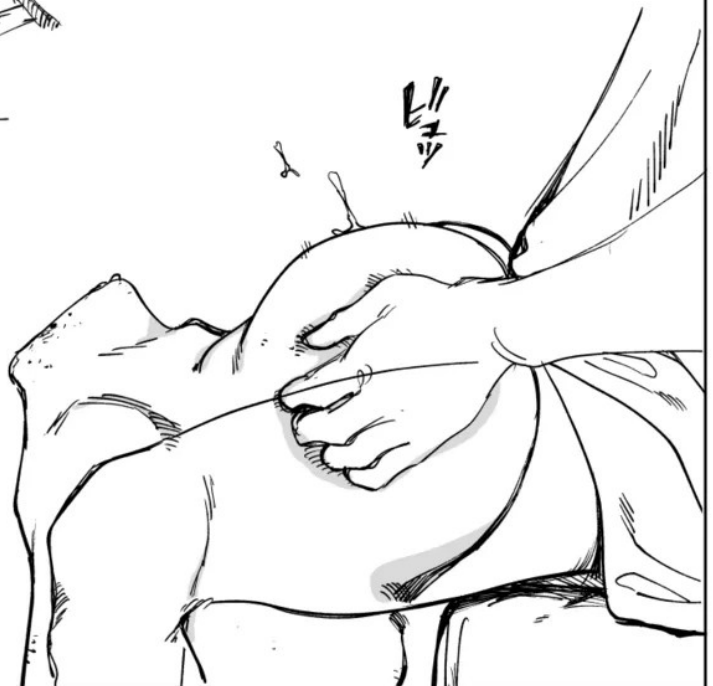
こちらもおかせません
こうして……と
お胸をお借りします



なんてやわらかさ……
イザヨイ様のお胸で
楽しめるなんて
私以上の幸せ者が
いるでしょうか



ピッ



イザヨイ様の
秘めたる部分を
覗かせていただく背徳感……
きれいだ……
ご生前はもっと
血色がよかったですのしょうね



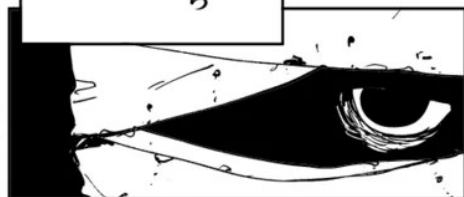
中を失礼します……!!
ムムツ……
今私はイザヨイ様と
繋がっている……!!
射精させていただきませす!
イザヨイ様!



イザヨイ様
あれは
10年くらい
前でしょいか



私がまだ幼く
焼かれた村から
逃げ出て
放浪生活を
していた
ときのこと



ゴブリンにでも
襲われたのでしょう
その無惨な死体は
私の胸を貫きました

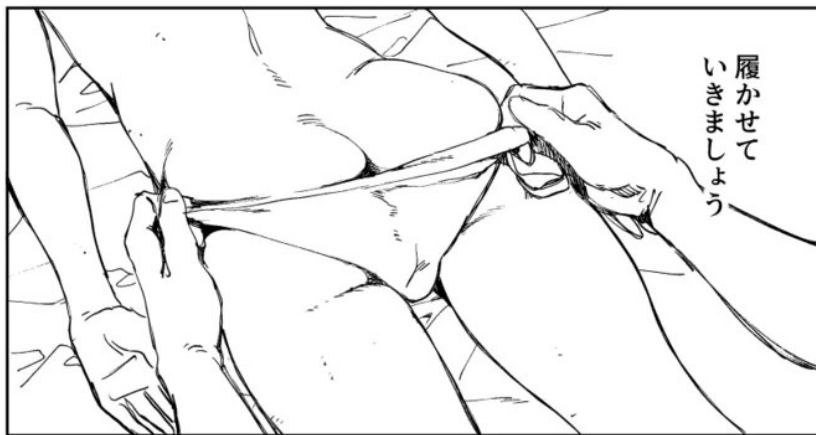
私は何日も
死体と共に
過ごしましたが
与えられた時間は
あまりに少なく
日に日に
腐ってゆく姿に
胸を痛めました

その後
このコロニーに
流れ着いて
多くの女性を
見てきましたが
不思議とあまり
心惹かれることは
ありませんでした

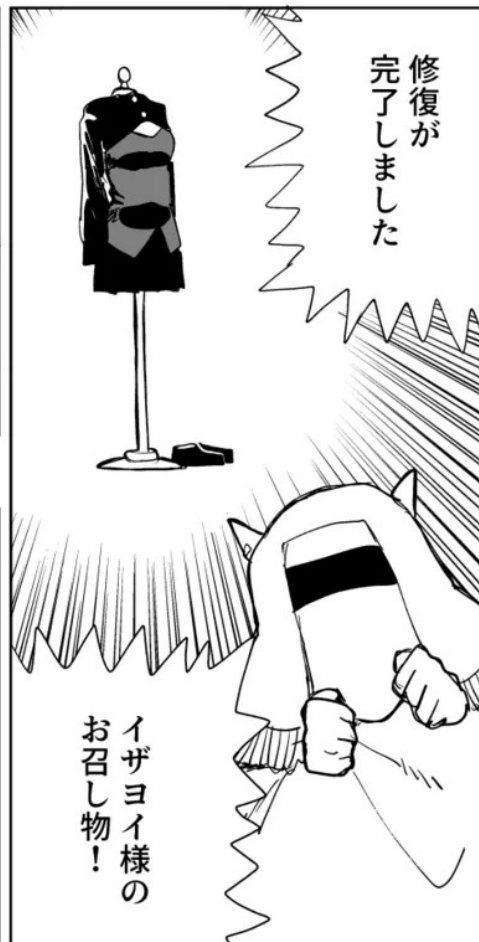
私はいつも
見つからない
彼女の面影を
探していたの
かもしれません

ずいぶんと
長く――





履かせて
いきましよう



修復が
完了しました

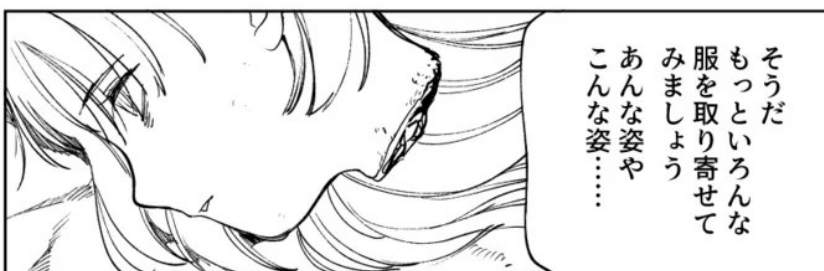
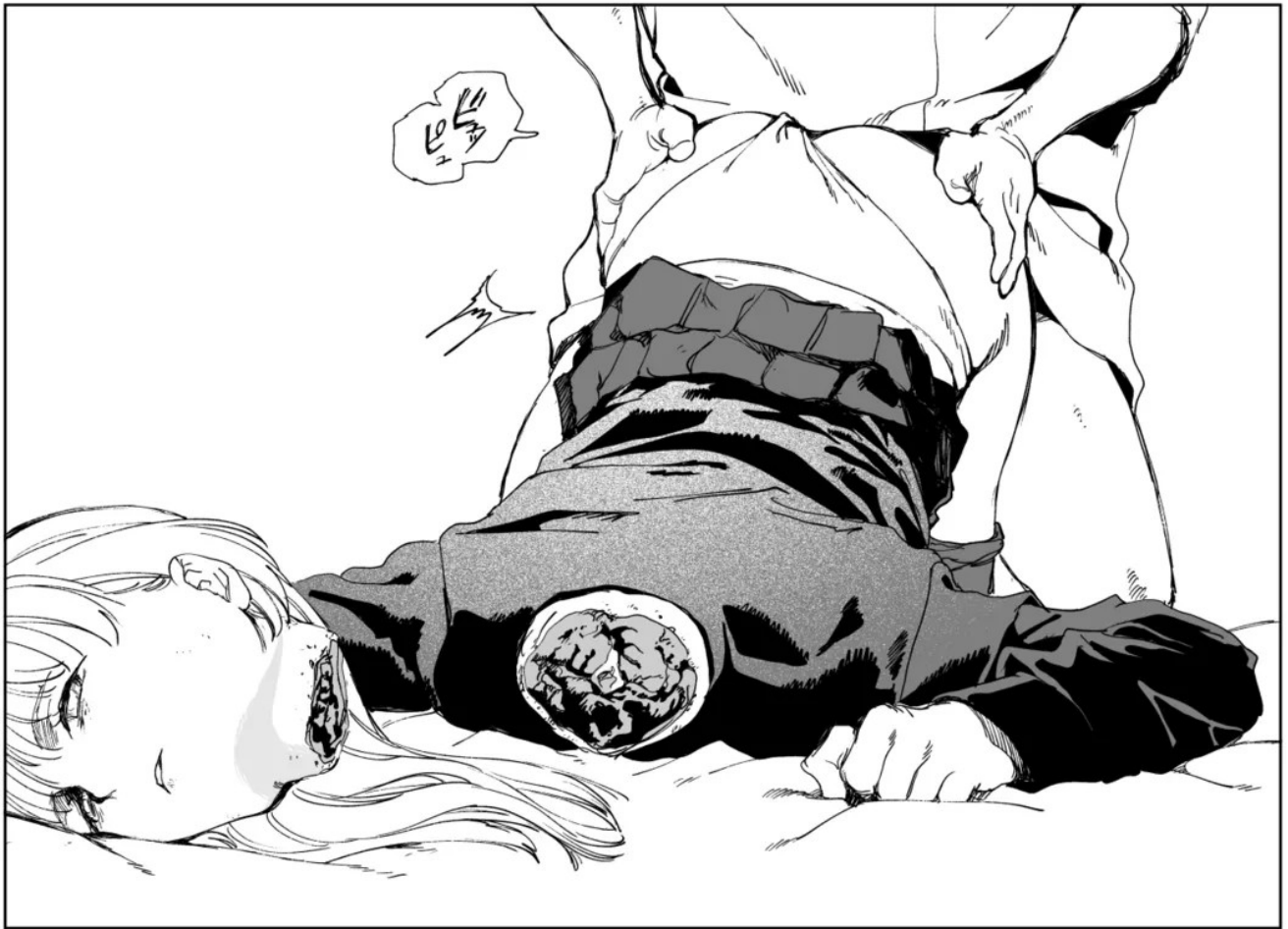
イザヨイ様の
お召し物！

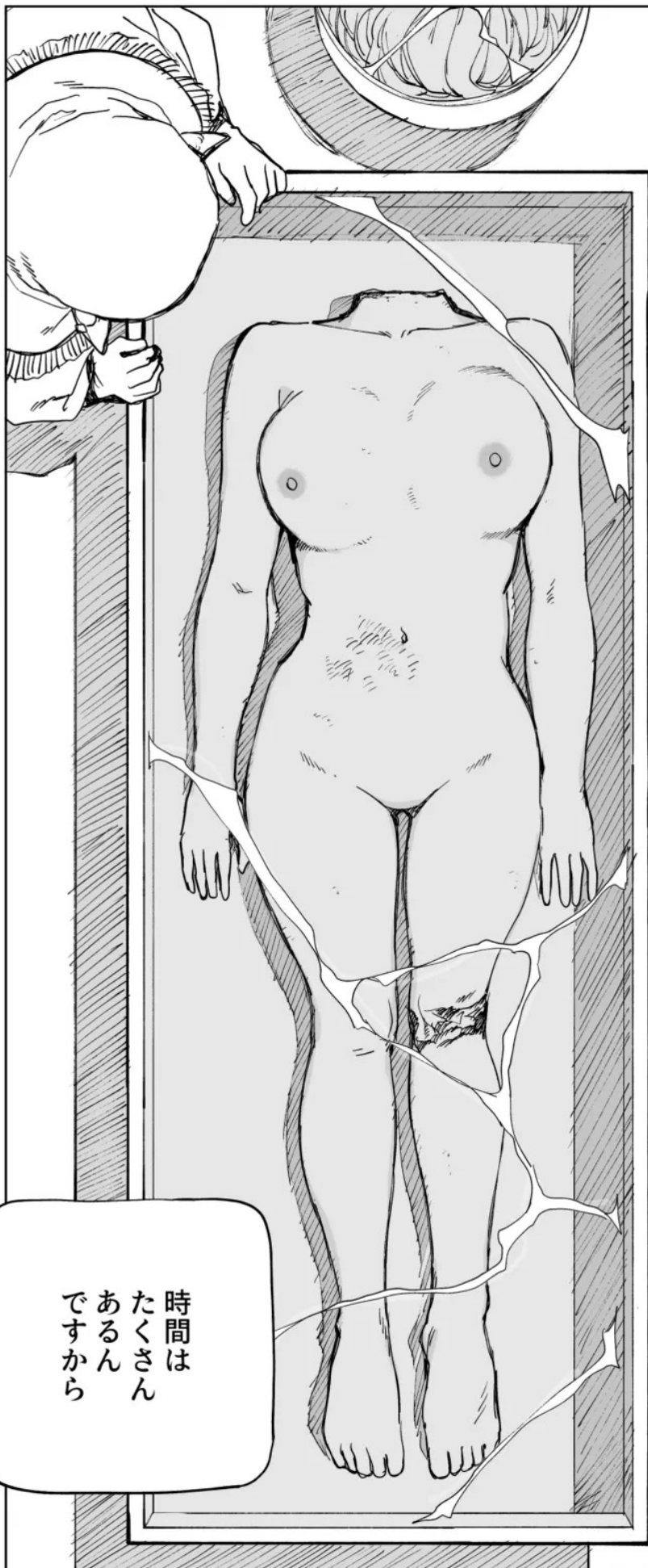


うんしょ……
下着姿も
素敵です



出会った時を
思い出します
あのときから
私の世界は
変わりました……





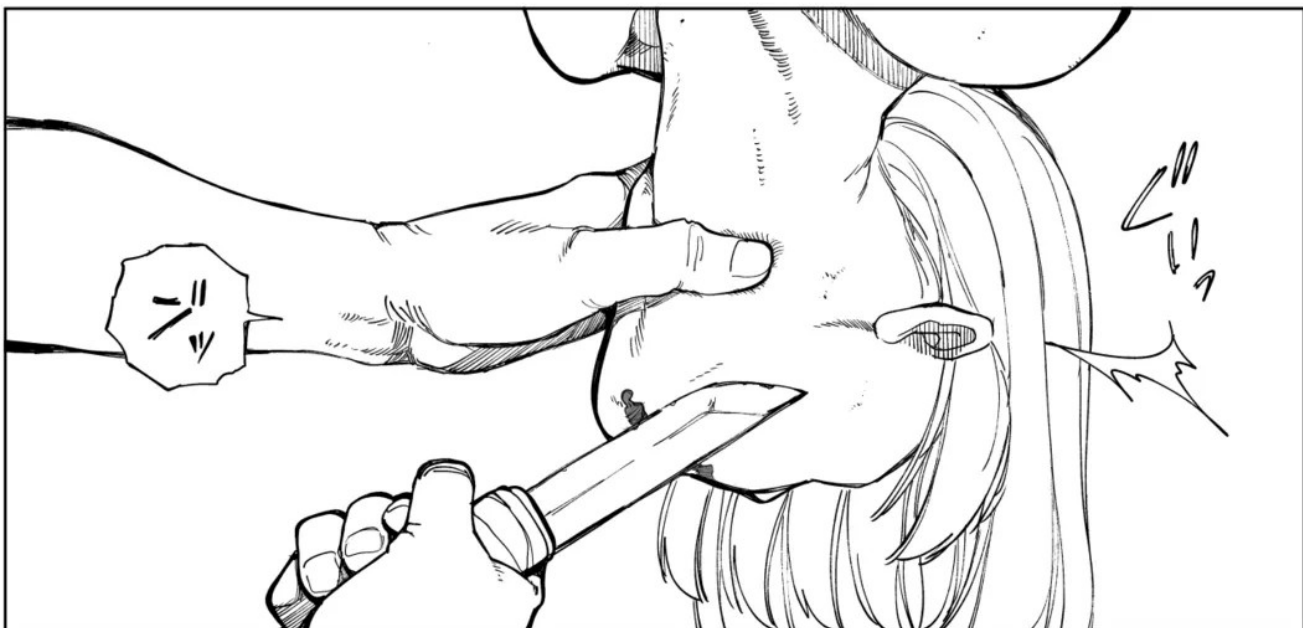
楽しみだなあ
たっぷり
楽しまないと

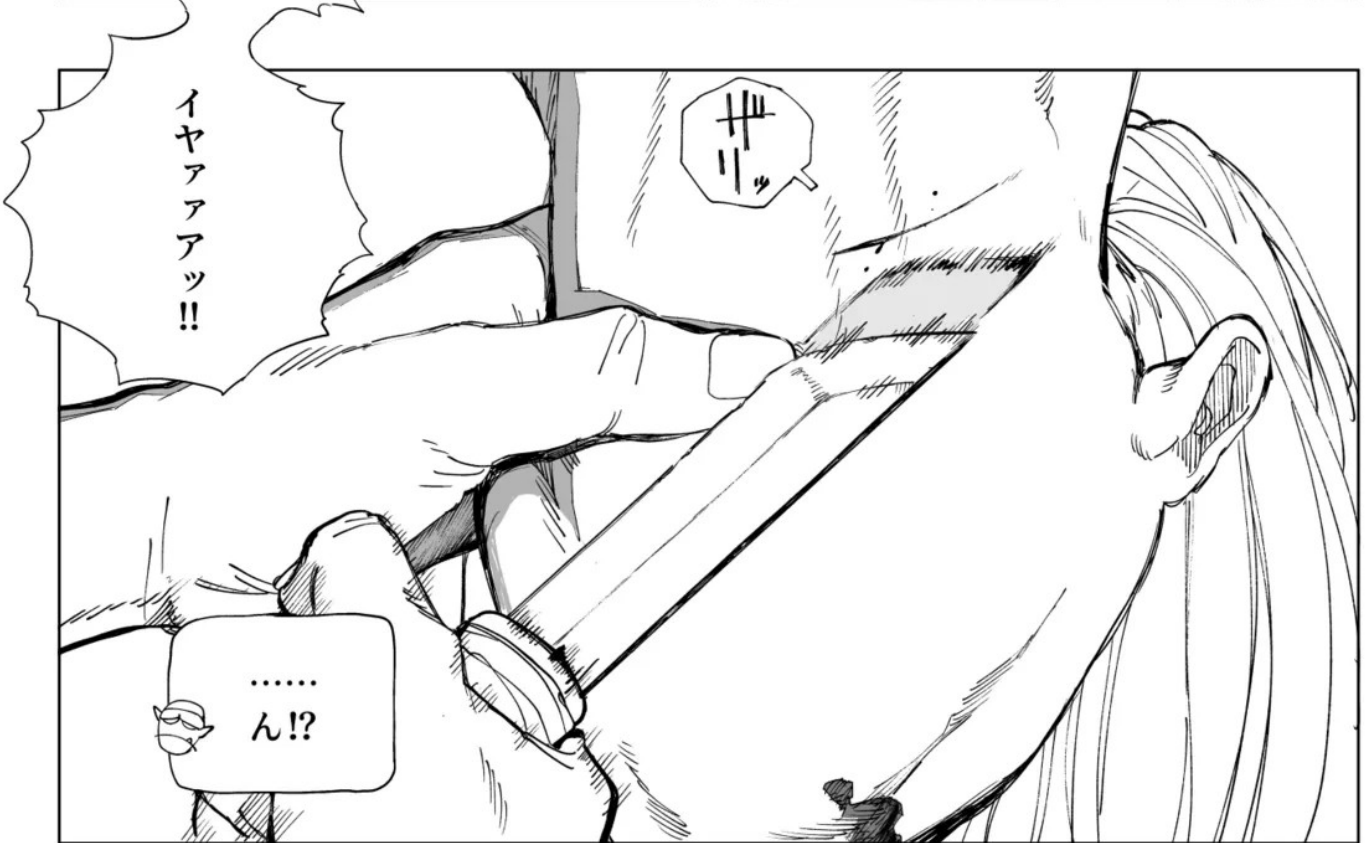
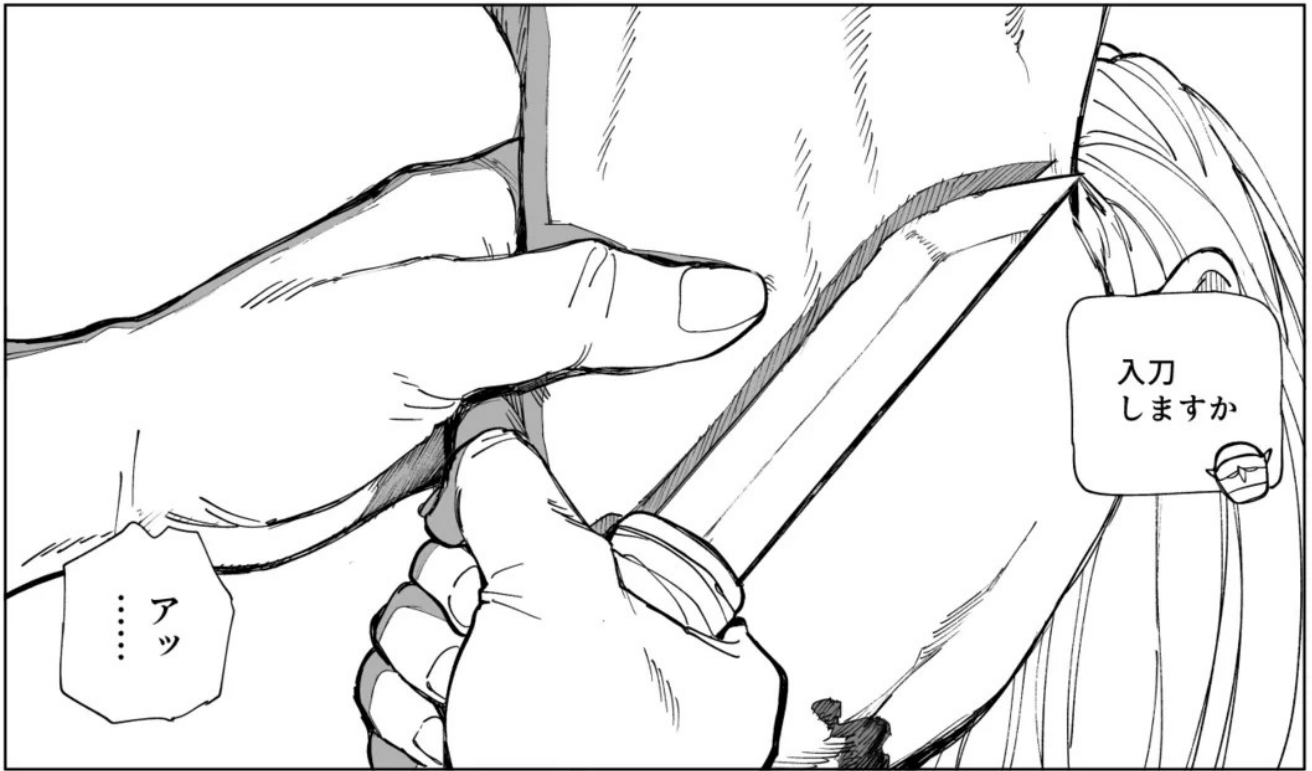
時間は
たくさん
あるん
です
から

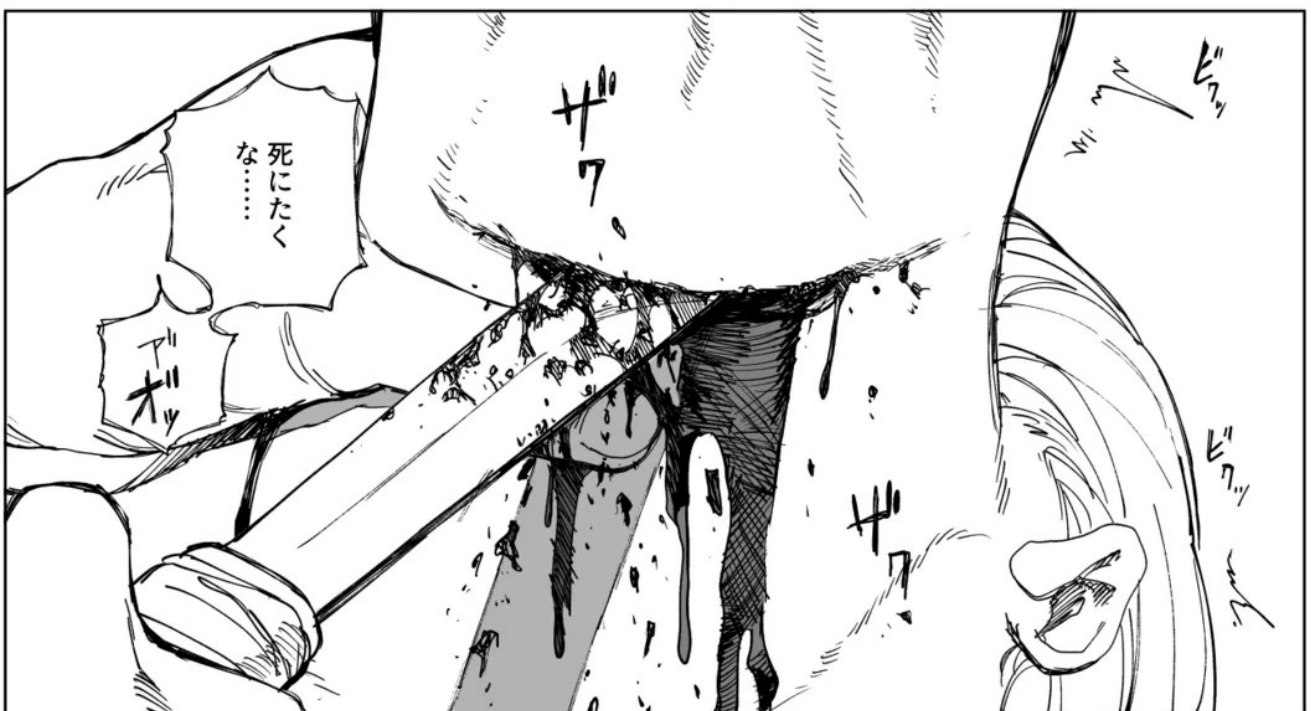
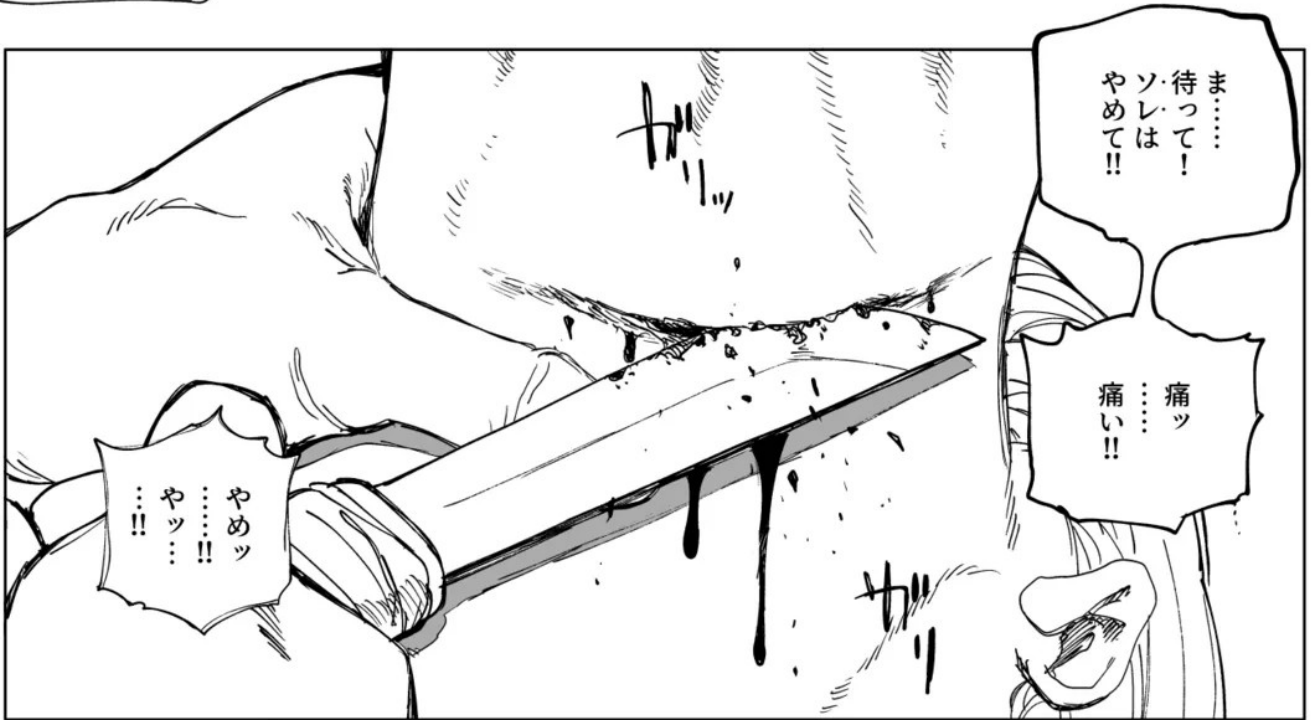


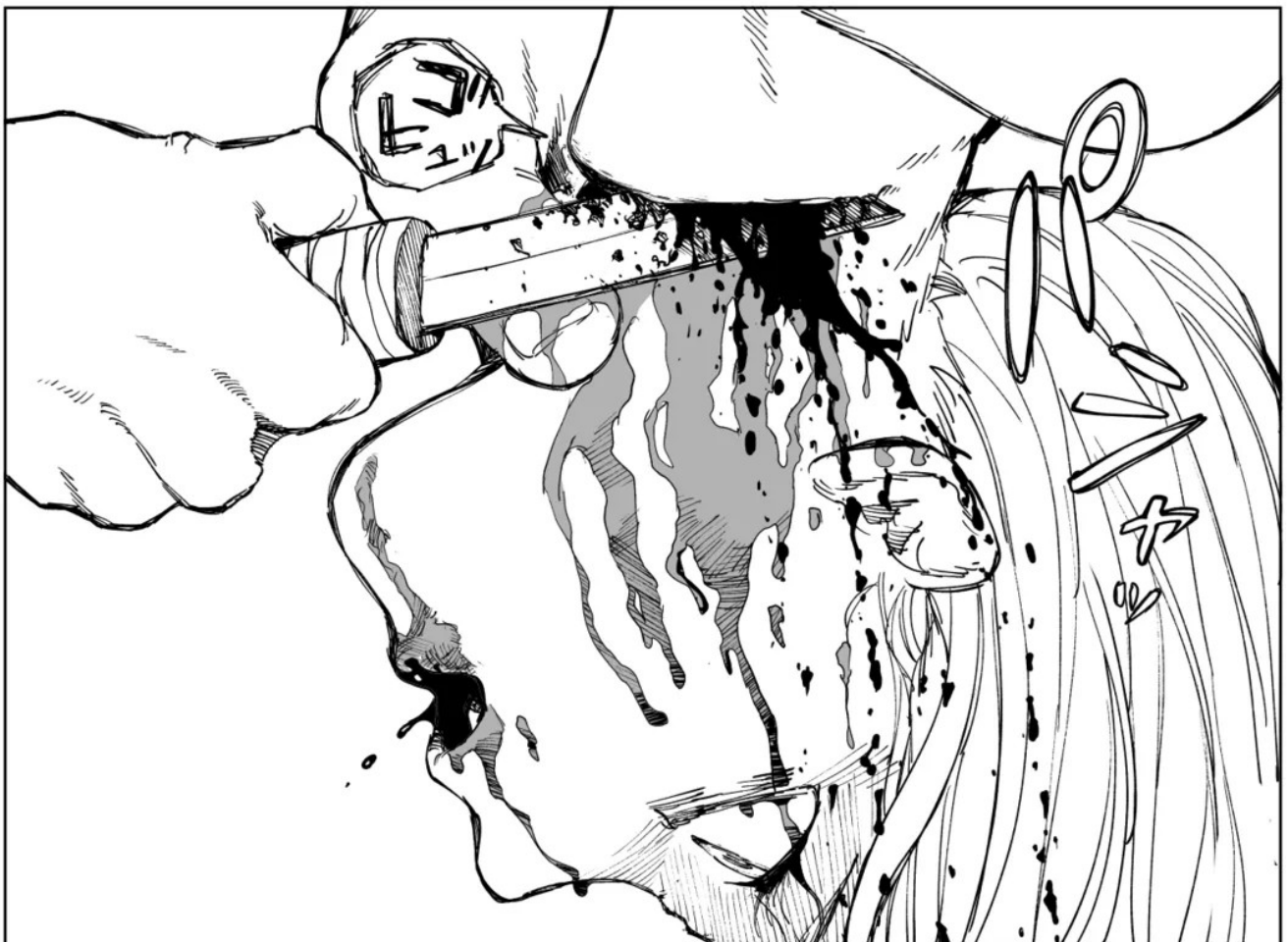
にひやく
にん……

〈斬首編〉











苦し
そうネ～



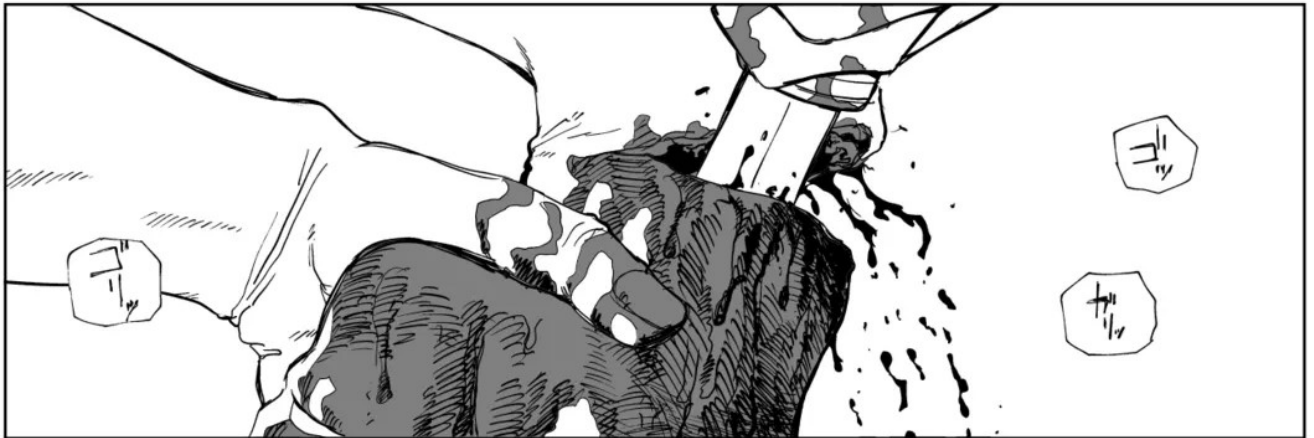
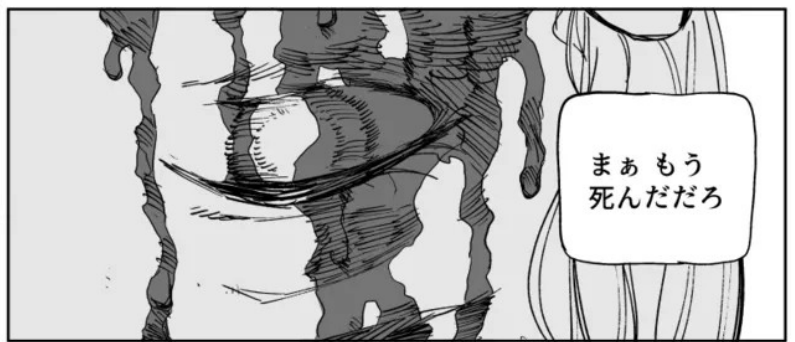
頸動脈が
切れたネ
何度見ても
面白いネ



いんや
まだちょっと
呼吸が
聞こえるな
意識もあんじゃ
ないか？

そろそろ
死んだ
ネ？









イザヨイ
様ツ!!助
けにきま
した!!

〈斬首編・終〉

〈ゲッカとイザヨイ先輩(後編)〉

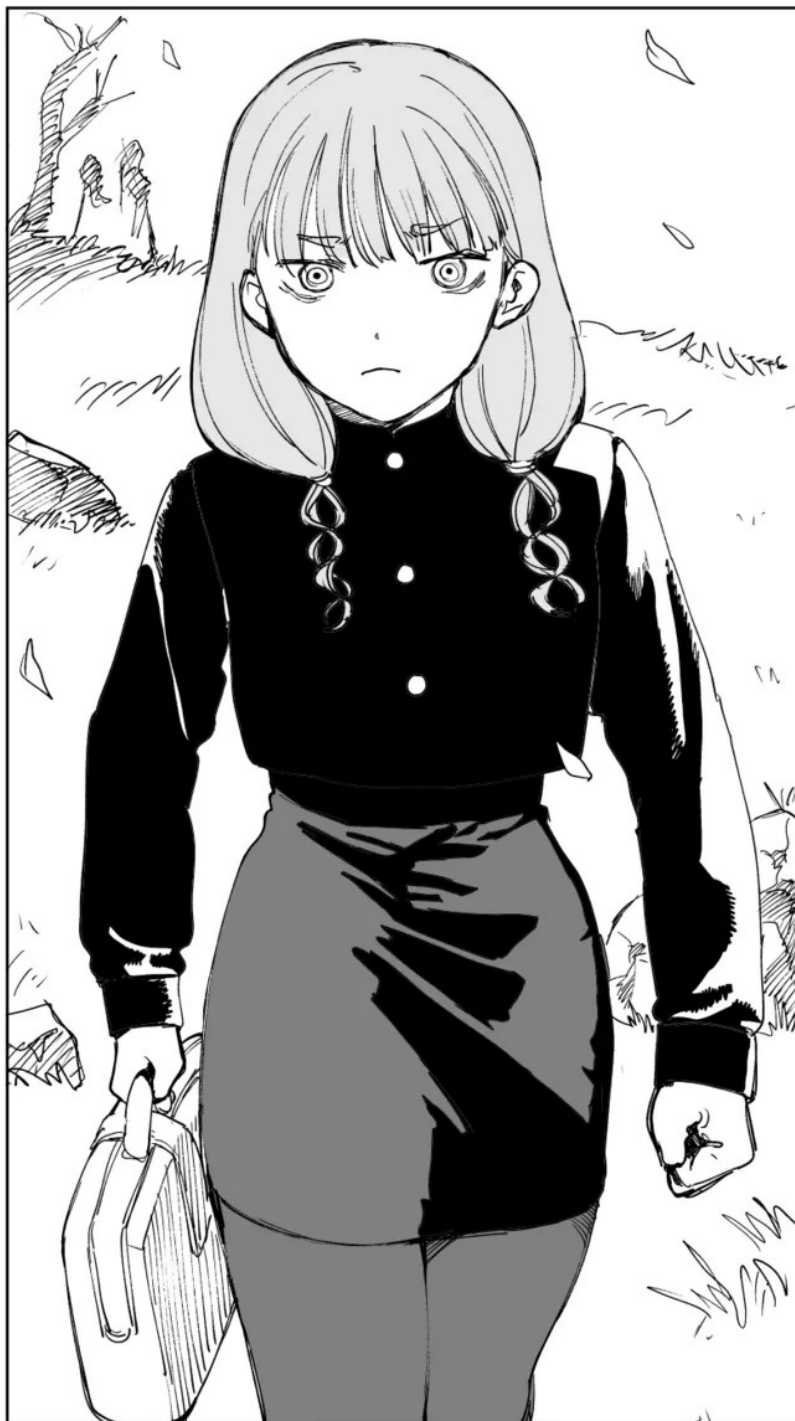


ヌマ国の
サノニト侵攻で
イザヨイ先輩の
故郷の状況が
分からなくなっ
てからだ

みんなは
気付いて
ないかも
しれないけれ
ど私には分か
った



それから
イザヨイ先輩は
帰ってこなかった



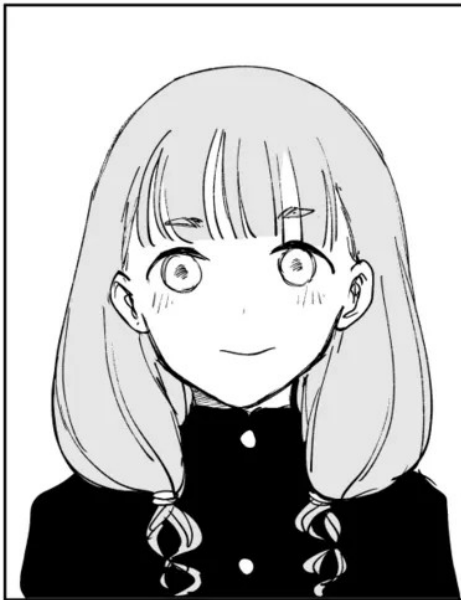
エルエルトは
二人目の使者を
出すつもりだった
そしてデワード語の話せる
私が任せられた
そこで私は初めて
二〇人の生贄のこと——
イザヨイ先輩が
抱えていた事情を知った

国の偉い人は
イザヨイ先輩は
殺されたと言
言っていたけれど
私は信じない
オークの巣窟には
イザヨイ先輩の
手掛かりがある
はずだった

イザヨイ先輩を
救えるのは
私だけ——
私が
行くしかない——

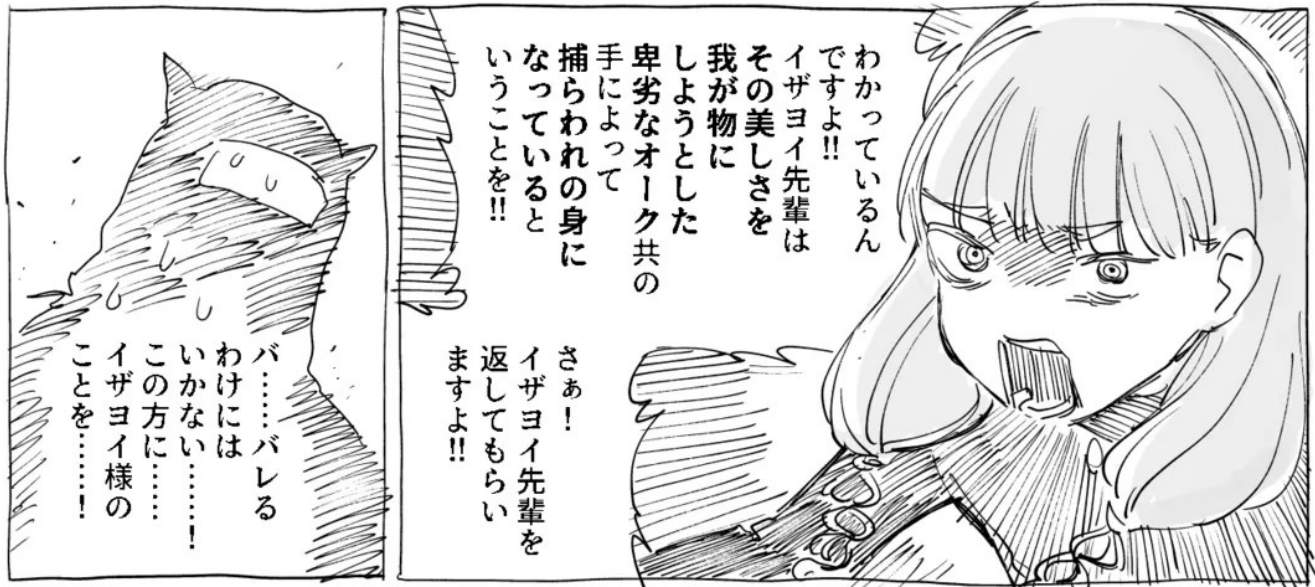
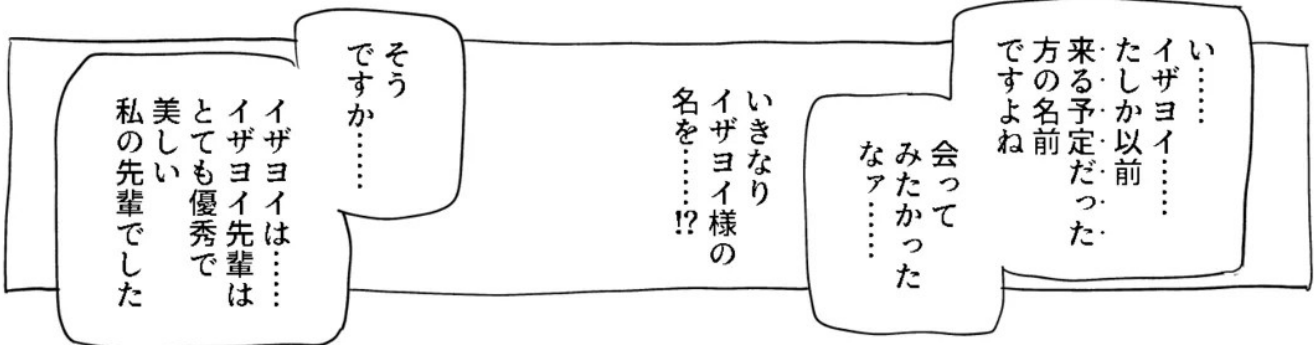
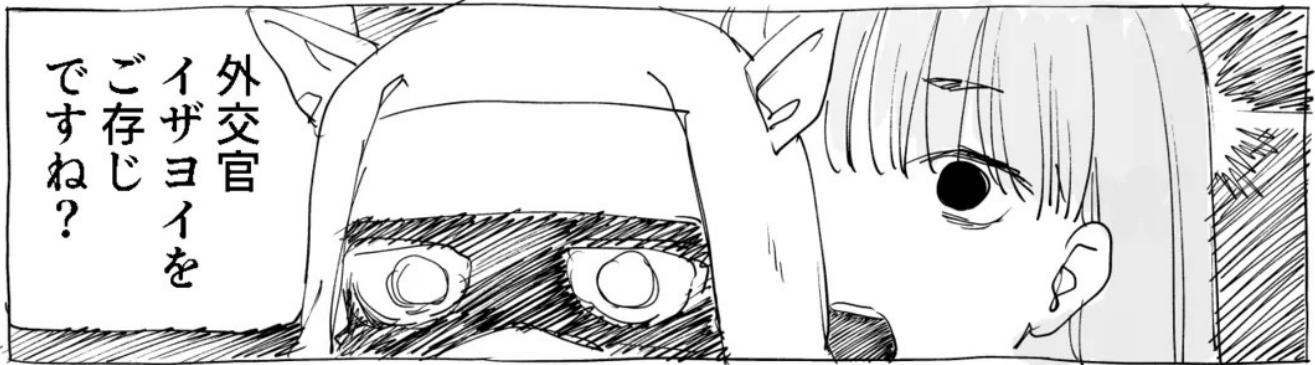


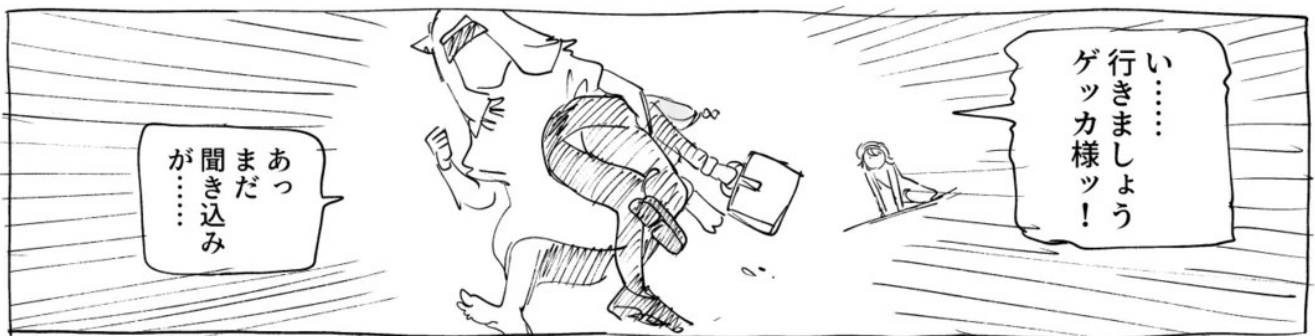
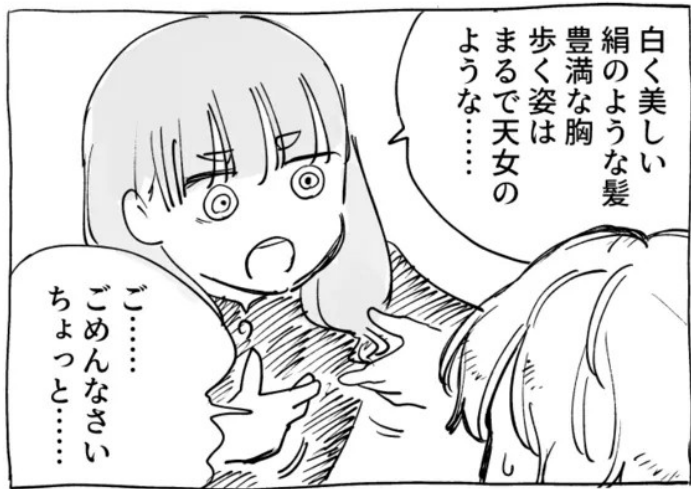
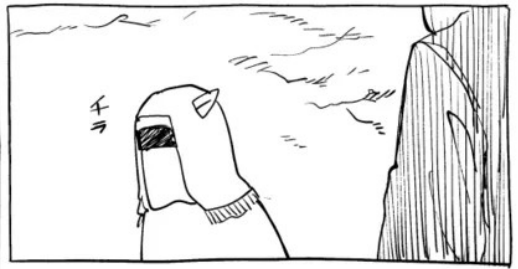
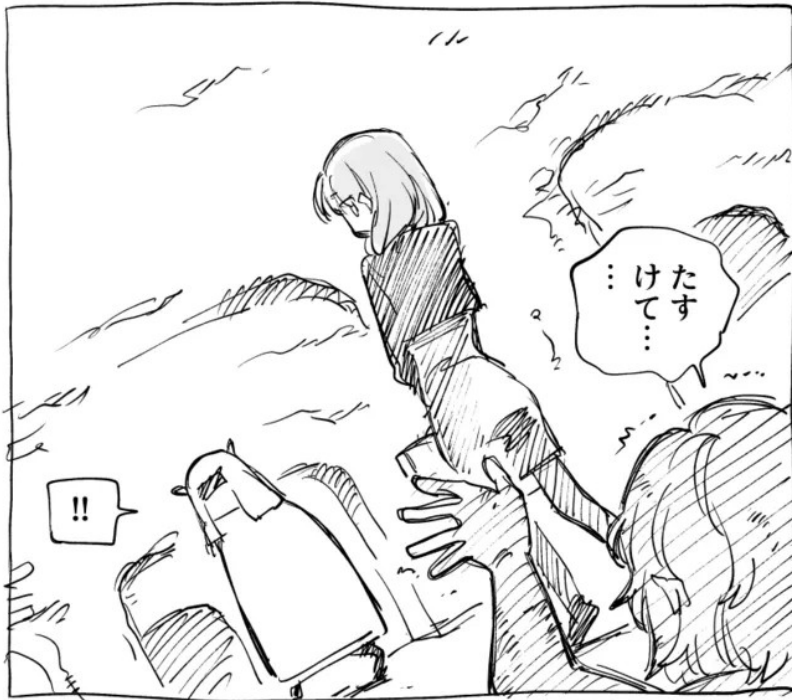
〈ゲッカとイザヨイ先輩(後編)・終〉



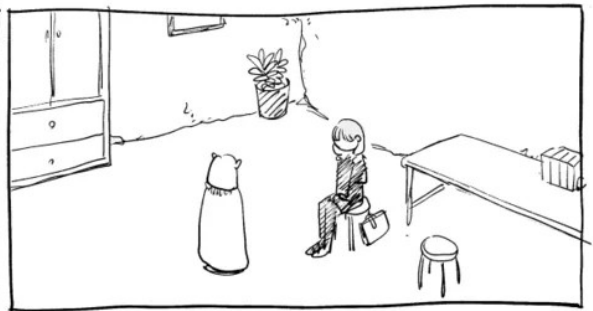
ゲッカ(22)

中流階級の貴族出身。
両親からのお見合いの提案を断り続けている。
イザヨイに一度髪を褒められたことをきっかけに
髪を伸ばし中。









おわり